

山梨県委託業務成績評定要領（建築設計・用地等補償）

（目的）

第1 この要領は、山梨県が発注する建設工事等に係る調査・測量・設計・発注者支援・公物管理補助及び行政事務補助業務委託（以下「委託」という。）の成績評定（以下「評定」という。）に必要な事項を定め、厳正かつ的確な評定の実施を図り、もって建設コンサルタント等並びに技術者の適正な選定及び指導育成に資することを目的とする。

（評定の対象）

第2 評定は、原則として1件の契約金額が100万円を超える委託について行うものとする。ただし、公共工事適正化連絡会議において評定を行う必要がないと認めたものについては評定を省略することができる。

（評定の内容）

第3 評定は、各委託業務等の種別に応じ定められた各評価項目について行う。

（評定者）

第4 委託の評定を行う者（以下「評定者」という。）は、業務の請負契約についての完了検査を行う者（総合評定者）及び調査を行う者（第一次評定者及び第二次評定者）とし、別表のとおりとする。

（評定の方法）

第5 評定は、委託ごと、評定者ごとに独立して的確かつ公正に行うものとする。

2 評定の結果は、別紙第1号様式の委託業務等成績評定表（以下「評定表」という。）に記録するものとする。

（評定の時期）

第6 総合評定者は検査を実施したとき、第一次評定者及び第二次評定者は委託業務等が完了したとき、それぞれ評定するものとする。

（評定表の提出等）

第7 評定者は、評定をおこなったときは、遅滞なく、評定表等を当該業務について所轄する所属（以下「所轄所属」という。）の長に提出するものとする。

（評定表の保管）

第8 評定表等については、所轄所属で保管するものとする。

(評定結果の通知)

第9 所轄所属の長は、評定表の決裁終了後、遅滞なく当該委託業務等の受注者に対して、評定の結果を別紙第2号様式により通知するものとする。

なお、別紙第2号様式に記載のある別表について、土木関係の考査基準を用いた調査・測量・設計の業務にあつては別表①、発注者支援・公物管理補助及び行政事務補助の業務にあつては別表②の項目別評定点に記録するものとする。

(評定の修正)

第10 所轄所属の長は、第9条の通知をした後、当該評定を修正する必要があると認められる場合は、修正しなければならない。

2 所轄所属の長は、前項の修正が行われたときは、遅延なく、その結果を当該委託業務の受注者に通知するものとする。

(説明請求等)

第11 第9条又は第10条による通知を受けた者は、通知を受けた日から起算して14日（「休日」を含む。）以内に、書面により通知を行った所轄所属の長に対して評定の内容について説明を求めることができる。

2 所轄所属の長は、前項による説明を求められたときは、別紙第3号様式により回答するものとする。

(再説明請求等)

第12 第11条第2項の回答を受けた者は、説明に係る回答を受けた日から起算して14日（「休日」を含む。）以内に、別紙第4号様式により所轄所属の長に対して、再説明を求めることができる。

2 所轄所属の長は、前項による再説明を求められたときは、当該事業所管所属に設けられた「委託業務等成績評定評価委員会」の審議を経て書面により回答するものとする。

3 前項の「委託業務等成績評定評価委員会」は、工事成績評定要領に基づき設置された「工事成績評定評価委員会」と兼ねるものとする。

4 「山梨県建設工事成績通知実施要領」の「山梨県建設工事成績評定評価委員会設置規則（案）」における「工事」を「工事又は委託業務等」に読み替えるものとする。

(適用除外)

第13 この要領の規定は、山梨県委託業務成績評定要領第2に掲げる委託業務については、適用しない。

附 則

1. この要領は、平成19年 4月 1日から施行する。
2. この要領は、平成23年 4月 1日から施行する。
3. この要綱は、令和 5年 4月 1日から施行する。

別表

区 分		第一次評定者	第二次評定者	総 合 評 定 者	
契 約 担 当 者	知	本課監督	担当リーダー (相当職)	課長補佐 (相当職)	検査員 (山梨県建設工事執行規則(昭和44年 山梨県規則第20号)第2条第4号に規定 する検査員をいう。)
	事	出先監督	担当リーダー (相当職)	担当課長 (相当職)	検査員
	所 長		担当リーダー (相当職)	担当課長 (相当職)	検査員

委託業務成績評定表					令和 年 月 日			
					事務所名			
委託業務等名								
契約金額		当初：¥			最終：¥			
履行期間		当初：令和 年 月 日～令和 年 月 日			最終：令和 年 月 日～令和 年 月 日			
完了年月日		令和 年 月 日						
完了検査年月日		令和 年 月 日						
契約相手方住所氏名								
管理技術者氏名								
照査技術者氏名								
業務主任技術者氏名								
担当技術者氏名①								
担当技術者氏名②								
担当技術者氏名③								
第一次評定者所属・氏名								
第二次評定者所属・氏名								
総合評定者所属・氏名								
評価項目	第一次評定者評定点	第二次評定者評定点	総合評定者評定点	業務評定（注1）	技術者評定			
					管理技術者 業務主任技術者	担当技術者	照査技術者	
専門技術力	提案力、改善力		—	—			—	
	業務執行技術力						—	
	施工時への配慮 （注2）	概略設計, 予備設計		—	—			—
		詳細設計		—	—			—
	コスト把握能力(注2)		—	—			—	
管理技術力	工程管理能力		—	—			—	
	品質管理能力		—	—			—	
	迅速性, 弾力性, 調整能力		—	—			—	
コミュニケーション力	説明力, 協調性 プレゼンテーション力		—				—	
取組姿勢	責任感, 積極性, 倫理観			—			—	
成果品の品質			—					
①小計（注3）								
②業務遂行上に係る過失に伴う減点		—		—				
③事故等による減点		—		—				
④瑕疵修補又は損害賠償による減点		—		—				
⑤その他（ ）		—		—				
総合評定点=①+②+③+④+⑤		—		—				

- 注) 1. 各評価項目の評定点は、小数第二位を四捨五入して表示している。
 2. 「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は設計業務のみ評定の対象とする。
 3. ①小計は、少数第一位を四捨五入し整数とする。

委託業務等成績評定表						
					令和 年 月 日	
事務所名						
委託業務等名						
契約金額	当初：¥				最終：¥	
履行期間	当初：令和 年 月 日	～	令和 年 月 日	最終：令和 年 月 日	～	令和 年 月 日
完了年月日	令和 年 月 日					
完了検査年月日	令和 年 月 日					
契約相手方住所氏名						
管理技術者氏名 (注1)						
照査技術者氏名	(照査技術者の評定はなし)					
担当技術者氏名 (注1)						
第一次評定者所属・氏名						
第二次評定者所属・氏名						
総合評定者所属・氏名						
評価項目	第一次評定者評定点	第二次評定者評定点	総合評定者評定点	業務評定 管理技術者評定・担当技術者評定 (注2)		
専門技術力	目的と内容の理解		—	—		
	的確な履行		—	—		
	業務目的の達成度		—	—		
管理技術力	業務実施体制の的確性		—	—		
	打ち合わせの理解度		—	—		
	指揮系統の迅速性、確実性		—	—		
取組姿勢	責任感、積極性		—	—		
①小計(注3)			—	—		
②業務執行に係る過失に伴う減点		—	—	—		
③事故等による減点		—	—	—		
④瑕疵修補又は損害賠償による減点		—	—	—		
⑤その他 ()		—	—	—		
総合評定点=①+②+③+④+⑤		—	—	—		

注) 1. 管理技術者及び担当技術者が複数名配置されている場合は、全て記載する。
 2. 各評価項目の「業務評定」「管理技術者評定」「担当技術者評定」は、小数第二位を四捨五入して表示している。
 3. ①小計は、小数第一位を四捨五入し整数とする。

建築設計委託業務成績評定表		
令和 年 月 日 所属:		
委託業務等名		
契約金額	当初:	最終:
履行期間	当初:令和 年 月 日~ 年 月 日	最終:令和 年 月 日~ 年 月 日
完了年月日		
完了検査年月日		
契約相手方住所氏名		
管理技術者氏名		
担当主任技術者氏名	意匠	
	構造	
	積算	
	電気設備	
	機械設備	
第一次評定者所属・氏名		
第二次評定者所属・氏名		
総合評定者所属・氏名		
①	第一次・二次評定者の評定点	点
②	総合評定者の評定点	点
③	第一次・二次評定者と総合評定者との総計 ③ = ① × α + ② × β	点
④	事故等による減点	点
⑤	瑕疵修補又は損害賠償による減点	点
⑥	総合評定点 ⑥ = ③ - ④ - ⑤	点
(注)・設計業務: α = 0.6 β = 0.4		

※ 2人以上の検査職員により検査を行う場合の総合評定者所属・氏名欄には、総括検査職員(検査の結果を総括する職員をいう。以下同じ。)が定められたときは、総括検査職員及びそれ以外の職員の別を明示すること。

※ 調査・検査の対象を設計業務等の分野等により分割して調査・検査を行ったときは、それぞれの調査職員・検査職員が担当した分野等名を記載した内訳書を添付すること。

〇〇〇〇第 号
令和 年 月 日

契約の相手方
所在地
商号又は名称
代表者氏名 殿

〇 〇 事務所長
〇 〇 〇 〇 印
〇 〇 課 長
〇 〇 〇 〇 印

委託業務成績評定通知書

貴社が受注した下記の委託業務について、委託業務成績評定要領に基づき評定した結果を通知します。

なお、評定の結果に疑問があるときは、当職に対してその疑問の旨を付して、この書面の通知を受けた日から起算して14日（「休日」を含む。）以内に書面により、説明を求めることができます。

疑問の旨に対する説明は、書面により郵送いたします。

なお、説明を求める場合は書面により通知者宛へ、また、手続き等についての問い合わせ先は下記へお願いします。

記

- 1 委託業務名 〇 〇 〇 〇 業務
- 2 履行期間 令和 〇年 〇月 〇日～令和 〇年 〇月 〇日
- 3 完成検査年月日 令和 〇年 〇月 〇日
- 4 成績評定 〇点または「別表のとおり」（土木関係のみ別表を添付）
- 5 手続き等の問い合わせ先
 (事務所の例) ㊟〇〇〇〇-〇〇〇〇 山梨県〇〇市〇〇丁目〇〇番地
 〇〇事務所 担当課 宛
 TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 (代) 内線〇〇〇〇
 (建築の例) ㊟〇〇〇〇-〇〇〇〇 山梨県〇〇市〇〇丁目〇〇番地
 〇〇課 契約担当 (工務担当) 宛
 TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 (代) 内線〇〇〇〇

項目別評定点

業務名：

評価項目	評価の視点	業務評定 (評定点/満点)	技術者評定			
			管理技術者、主任 技術者(注1) (評定点/満点)	担当技術者 (注1) (評定点/満点)	照査技術者 (注1) (評定点/満点)	
専門技術力	提案力、改善力	/	/	/	-	
	業務執行技術力	/	/	/	-	
	施工時 への配 慮 (注2)	概略設計 予備設計	/	/	/	-
		詳細設計	/	/	/	-
	コスト把握能力 (注2)	/	/	/	-	
管理技術力	工程管理能力	/	/	-	-	
	品質管理能力	/	/	-	/	
	迅速性、弾力性、 調整能力	/	/	-	-	
コミュニケーション 力	説明力、プレゼン テーション力、協調性	/	/	/	-	
取組姿勢	責任感、積極性、 倫理観	/	/	/	-	
成果品の品質		/	/	/	/	
評定点の小計(注3)		/	/	/	/	
業務執行に係る過失に伴う減点						
(内指名停止に係わる 減点数) / 事故等による減点		() /	() /	() /	() /	
瑕疵修補又は損害賠償による減点						
その他()						
総合評定点(注3)		/100点	/100点	/100点	/100点	

- 注) 1. 各項目の評定点及び満点は小数第二位を四捨五入して表示している。
 2. 「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計業務のみ評定の対象とする。
 3. 評定点の小計は小数第一位を四捨五入し、整数としている。

土木関係の審査基準を用いた場合のみ添付する。
(発注者支援・公物管理補助及び行政事務補助の業務)

項目別評定点

業務名：

評価項目	評価の視点	業務評定・技術者評定	
		業務評定	管理技術者・担当技術者
専門技術力	目的と内容の理解	点/	点
	的確な履行	点/	点
	業務目的の達成度	点/	点
管理技術力	業務実施体制の的確性	点/	点
	打ち合わせの理解度	点/	点
	指揮系統の迅速性、確実性	点/	点
取組姿勢	責任感、積極性	点/	点
評定点の小計 (注)		点/	100 点
業務執行に係る過失に伴う減点			点
(内指名停止に係わる減点数) / 事故等による減点		(点)/	点
瑕疵修補又は損害賠償による減点			点
その他 ()			点
総合評価点			点 / 100 点

注) 評定点の小計は、小数第一位を四捨五入し整数とする。

〇〇〇〇第 号
令和 年 月 日

契約の相手方
所在地
商号又は名称
代表者氏名 殿

〇〇建設事務所長
〇 〇 〇 〇 印
〇 〇 課 長
〇 〇 〇 〇 印

委託業務成績評定に係る説明書（回答）

令和 年 月 日付けで貴社から説明を求められました評定内容について、下記のとおり回答します。

本説明書に疑問があるときは、当職に対してその疑問の旨を付して、この書面の回答を受けた日から起算して14日（「休日」を含む。）以内に書面により、再説明を求めることができます。

なお、再説明は〔各執行所属名〕に設けられた委託業務成績評定評価委員会の審議を経た上で行います。

疑問の旨に対する再説明は、書面により郵送いたします。

また、再説明を求める場合は書面により通知者宛へ、手続き等についての問い合わせ先は下記へお願いします。

記

1 委託業務名 〇 〇 〇 〇 業務

2 疑問に対する回答

3 手続き等の問い合わせ先

(事務所の例) ㊦〇〇〇-〇〇〇〇 山梨県〇〇市〇〇丁目〇〇番地
〇〇事務所 担当課 宛

TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 (代) 内線〇〇〇〇

(建築の例) ㊦〇〇〇-〇〇〇〇 山梨県〇〇市〇〇丁目〇〇番地
〇〇課 契約担当 (工務担当) 宛

TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 (代) 内線〇〇〇〇

〇〇〇〇第 号
令和 年 月 日

契約の相手方
所在地
商号又は名称
代表者氏名 殿

〇 〇 事務所長
〇 〇 〇 〇 印
〇 〇 課 長
〇 〇 〇 〇 印

委託業務成績評定に係る再説明書（回答）

令和 年 月 日付けで貴社から再説明を求められた評定内容について、下記のとおり回答します。

記

1 委託業務名 〇 〇 〇 〇 業務

2 疑問に対する回答

山梨県委託業務成績評定要領の運用（建築設計・用地等補償）

1. 目的

本運用は、「山梨県委託業務成績評定要領」に関する運用を定めるものとする。

2. 評定の内容

評定の内容は下表に示す業務内容に対応した考査基準によるものとする。

考査基準	業務内容
土木関係 (調査・測量・土木設計)	地質調査、単純調査等業務、測量作業、土木事業に関する調査業務、計画業務、土木設計業務等
土木関係 (発注者支援・公物管理補助・行政事務補助)	現場技術業務、品質検査業務、河川巡視支援業務、河川許認可審査支援業務、水文観測所点検支援業務、道路許認可審査・適正化指導業務、調査計画資料作成業務、積算技術業務、技術審査業務等
営繕関係 (建築設計・電気設備・機械設備)	建築設計、構造設計、設備設計、建築に係わる設計意図伝達業務及び積算業務等設計図書作成業務(改修図作成業務を含む。)

3. 評定の方法

(1) 評定は委託業務ごとに独立して行う。

(2) 同一区分の評定者が二人以上いる場合については、評定に用いる考査基準により、下表に示す方法により評定する。

考査(業務)内容	評定の方法
土木関係	評定者が協議して評定する。
営繕関係	それぞれの評定者が担当した分野ごとに評定する。また、各分野の評定者の内訳書を作成し、評定表に添付する。ただし、総合評定者については、総括検査職員(検査の結果を総括する職員)の別を明示すること。

4. 業務内容が複数の業務にまたがる場合の取扱い

対象業務内容が「土木関係」と「営繕関係」の複数の業務にまたがる場合においては、業務の目的、金額を勘案し、原則として主たる業務の考査基準により評定する。

5. この運用は、山梨県委託業務成績評定要領第2に掲げる委託業務については、適用しない。

附則

(1) この運用は平成18年10月1日から適用する。

(2) この運用は平成19年 4月1日から適用する。

(3) この運用は平成23年 4月1日から適用する。

(4) この運用は令和 5年 4月1日から適用する。

審査基準（土木関係）

1. 第二次評定者審査基準

(1) 審査方法

第二次評定者は、評定趣旨を十分に理解し尊重した上で、それぞれ総合的に評定を行う。

(2) 評定点範囲

採点表（第二次評定者用）の該当評価項目について、それぞれ総合的に判断して評定するものとする。

2. 第一次評定者及び総合評定者審査基準

評定にあたっては、当該業務の履行状況に応じ、各評価項目の評定を行うものとする。（評価項目の追加、削除、もしくは評価比重の変更は行わない）

3. 事故等による減点等

(1) 事故等による減点

当該業務遂行中に受注者に起因する事故等が発生し指名停止等の措置を行った場合には、当該業務の総合評定点に対して、別表－1を参考として15点まで減点することができる。

別表－1 受注者に起因する事故等が発生した場合の減点基準

区 分	口頭注意	文書注意	指名停止1ヶ月まで	指名停止が1ヶ月を超える
考 査 点	－3点	－5点	－10点	－15点

【適応事例】

- 入札前に提出した当該業務の技術提案書等が虚偽であった事実が判明した。
- 発注者の承諾なしに当該業務に関する権利義務、成果物を第三者に譲渡又は承継、公開した。
- 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違

	単純なデータ処理業務
	書類編集的な業務
	文献収集業務
河川、砂防及び海岸	水理・水文観測業務
	データ加工業務（降雨解析等）
	不等流計算等の計算業務（システム開発を除く）
	補償数量の算出
	工事記録等資料の分類・整理
	工事図面集、写真集等の作成
道路	一般的な現地踏査
	一般的な交通量観測業務
	台帳整理等を目的とした資料収集業務
トンネル	クラック等変状の計測調査
施工計画及び施工設備	施工関連資料の収集整理
情報	定期的なデータメンテナンス
	資料収集的な業務
	単純なデータ作成のみの業務
防災	資料収集的な業務
環境	大気汚染、水質汚濁、騒音、振動等調査・分析方法がJIS等で規定されている測定業務

5. 公物管理補助業務及び行政事務補助業務について

公物管理補助業務及び行政事務補助業務は以下の土木関係建設コンサルタント業務とする。

(1) 公物管理補助業務

- ・河川巡視支援業務
- ・河川許認可審査支援業務
- ・水文観測所点検支援業務
- ・ダム・排水機場管理支援業務
- ・道路巡回業務
- ・道路許認可審査・適正化指導業務 等

(2) 行政事務補助業務

- ・調査計画資料作成業務 等

6. 適用する採点表について

(1) 業務種類別の適用採点表

① 「地質調査、単純調査業務、測量業務」採点表

地質調査業務、測量業務、設計・電気通信の調査業務及び計画業務のうち純調査業務に適用する。

② 「調査業務、計画業務」採点表

設計業務等・電気通信施設設計の調査業務及び計画業務（単純調査業務を除く）に適用する。

③ 「設計業務」採点表

設計業務に適用する。

④ 「工事管理業務等」採点表

発注者支援業務、公物管理業務及び行政事務補助業務のうち、以下の業務に適用する。

- ・現場技術業務
- ・品質検査業務
- ・河川巡視支援業務
- ・河川許認可審査支援業務
- ・水文観測所点検支援業務
- ・ダム・排水機場管理支援業務
- ・道路許認可審査・適正化指導業務
- ・調査計画資料作成業務 等

⑤ 「積算技術業務等」採点表

発注者支援業務、公物管理業務及び行政事務補助業務のうち、以下の業務に適用する。

- ・積算技術業務
- ・技術審査業務 等

(2) 対象業務が複数の業務にまたがる場合の取扱い

対象業務が、上記(1)①から⑤のうちの複数の業務にまたがる場合においては、業務の目的、金額を勘案し、原則として主たる業務の採点表を適用する。

ここで、「主たる業務」の取扱いについては、以下を参考とされたい。

- ・上記(1)①から⑤の対象部分のどれかが100万円を超えるときには、その業務を「主たる業務」とみなすものとする。
- ・上記(1)①から⑤の対象部分の複数が100万円を超えるとき、もしくはどれもが100万円を超えない場合には、業務の目的、金額を勘案して、「主たる業務」を1つ選定するものとする。

これらの取扱いは、第一次評定者及び総合評定者で統一するものとする。

(3) 採点表の選定について

対象業務が複数にまたがる場合の取り扱いや単純調査業務の選定は、第一次
評定者が決定する。

7. 総合評定点について

総合評定点を算出する際には、対象業務に応じて各評価項目ごとに以下の重み付けを考慮する。

評価項目		地質調査、単純調査等業務、 測量作業				調査業務、計画業務				設計業務				
		業務 評定	技術者評定			業務 評定	技術者評定			業務 評定	技術者評定			
			管理 又は 主任 (注1)	担当 (注2)	照査		管理	担当 (注2)	照査		管理	担当 (注2)	照査	
専門 技術力	提案力、改善力	2	2	2	—	2	2	2	—	2	2	2	—	
	業務執行技術力	4	4	4	—	4	4	4	—	4	4	4	—	
	施工時への 配慮 (注3)	概略設計、 予備設計	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—
		詳細設計	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—
	コスト把握能力 (注3)	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—	
管 理 技術力	工程管理能力	2	2	—	—	2	2	—	—	2	2	—	—	
	品質管理能力	2	2	—	2	2	2	—	2	2	2	—	2	
	迅速性、弾力性、 調整能力	1	1	—	—	1	1	—	—	1	1	—	—	
コミュ ニカ シカ	説明力、協調性、 プレゼンテーション力	1	1	1	—	1	1	1	—	1	1	1	—	
取組 姿勢	責任感、積極性、 倫理観	2	2	2	—	2	2	2	—	2	2	2	—	
成果品の品質		7	7	4	1	7	7	4	1	8	8	5	1	
合 計		21 (100 %)	21 (100 %)	13 (100 %)	3 (100 %)	21 (100 %)	21 (100 %)	13 (100 %)	3 (100 %)	24 (100 %)	24 (100 %)	16 (100 %)	3 (100 %)	

評価項目		工事管理業務等			積算技術業務等		
		業務 評定	技術者評定		業務 評定	技術者評定	
			管理	担当		管理	担当
専門 技術力	目的と内容の理解	6	6	6	6	6	6
	的確な履行	36	36	36	24	24	24
	業務目的の達成度	18	18	18	30	30	30
管 理 技術力	業務実施体制 の的確性	14	14	14	14	14	14
	打ち合わせ の理解度	7	7	7	7	7	7
	指揮系統の迅速性、 確実性	14	14	14	14	14	14
取組 姿勢	責任感、積極性、 倫理観	5	5	5	5	5	5
合 計		100	100	100	100	100	100

- 注) 1.一部において測量作業は現場代理人及び主任技術者、地質調査は現場代理人が該当する。
 2. 担当技術者は地質調査、単純調査業務、測量業務、調査業務、計画業務、設計業務は3名までとする。
 工事管理業務等、積算技術業務等については担当技術者として従事した全ての者とする。
 3. 「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計業務のみ評定の対象とする。

参考：採点上の補足

1. 業務執行に係る過失に伴う減点について

採点表の評価細目で「その他」を選択する場合は、その理由を記載する。以下、例を示す。

（業務実施上の過失の評価例）

- ・ その他（プロポーザル方式又は総合評価落札方式において契約図書に反映された技術提案の実施が不十分であった。）
- ・ その他（監督員の再三の指示にもかかわらず、改善されなかった。）

2. 高度な技術レベルが求められる場合等について

採点表の評価細目で、“高度な技術レベル”“難易度の高い業務”の項目があるが、これに関しては「設計・コンサルタント業務等入札契約問題検討委員会 中間とりまとめ」に示される「知識」の高い業務かつ／又は「構想力・応用力」の高い業務を指す。以下、標準的な業務内容に基づいた例を示す。

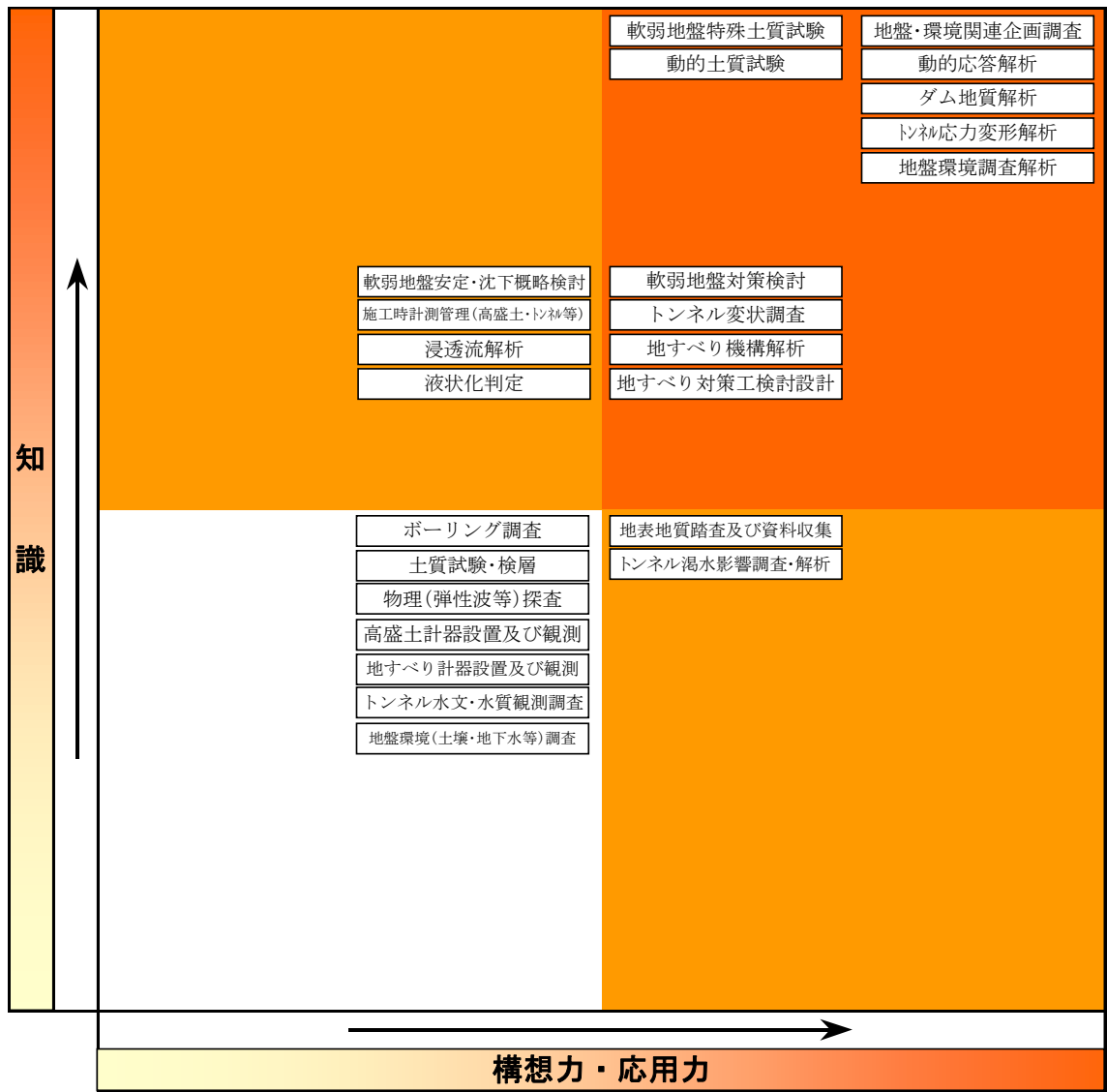


図 地質調査の例

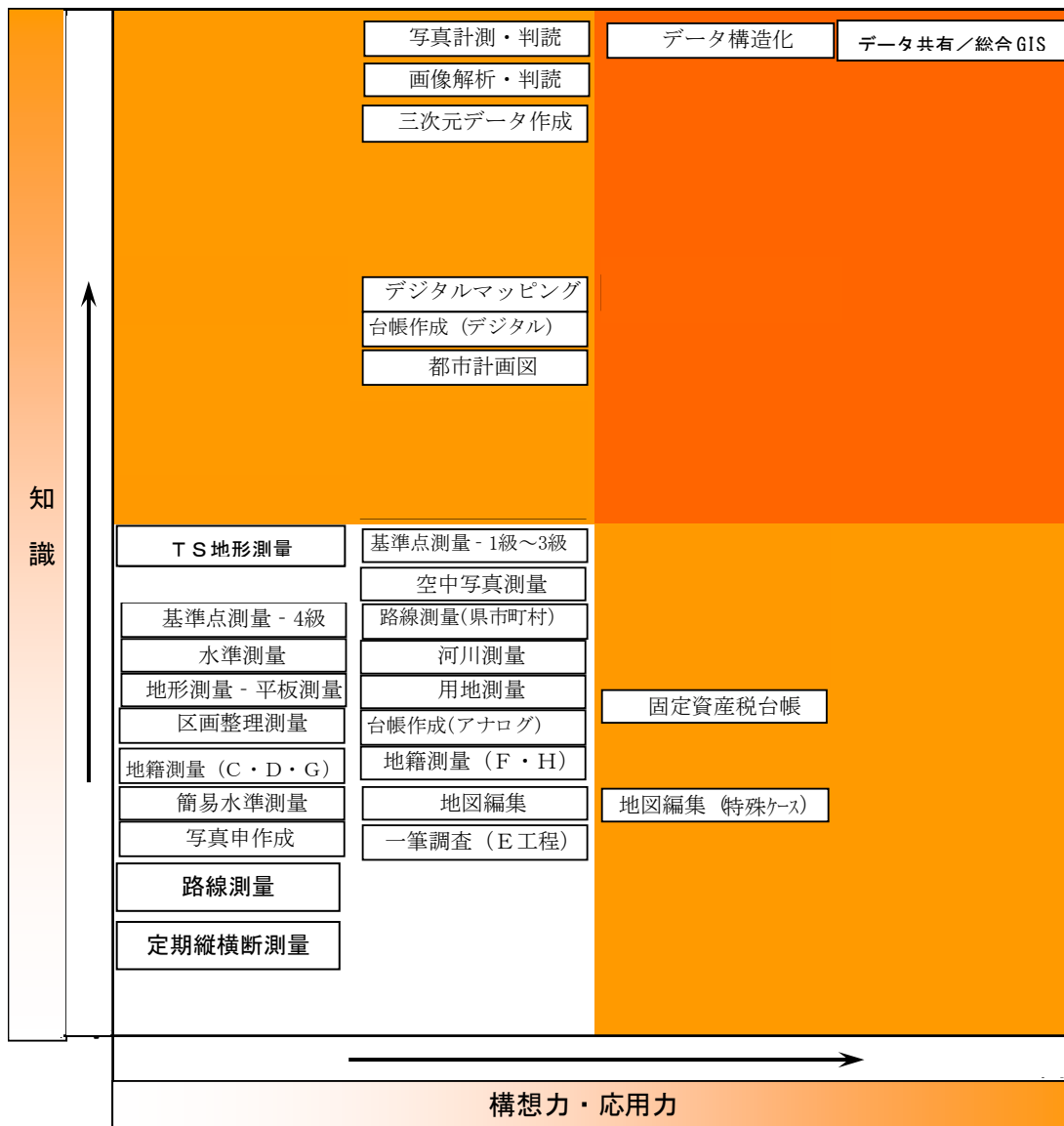


図 測量作業の例

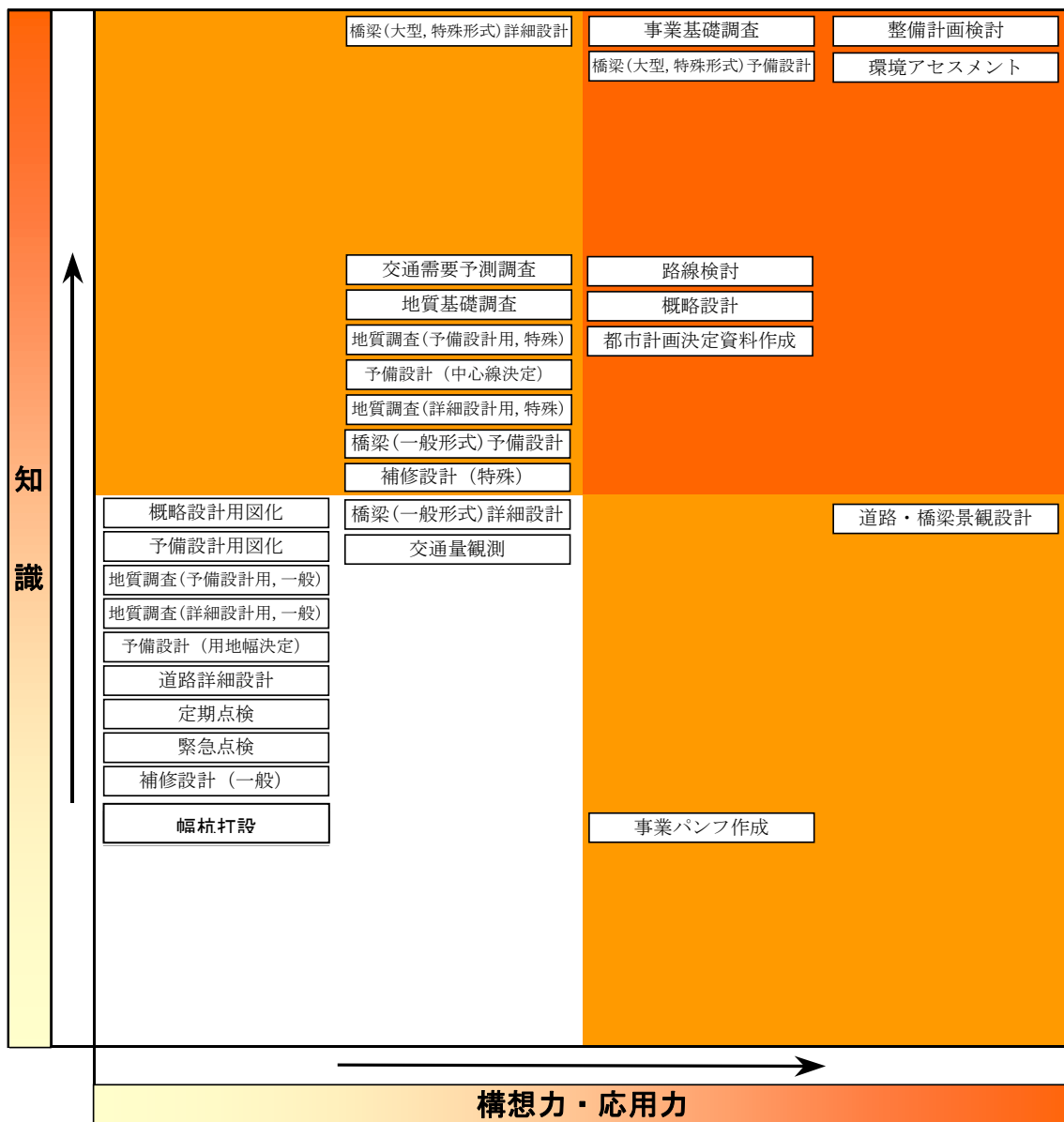


図 道路事業に係わる調査・計画・設計業務の例



注：A，Bは同種の業務における難易度の違いを表し、Aは難易度が大きいものであるもの。

図 河川事業に係わる調査・計画・設計業務の例

8. 業務評定項目

評価項目		評価の視点	(1) 地質調査、単純調査等業務、測量作業				(2) 調査業務、計画業務				(3) 設計業務				
			第一次評定者	第二次評定者	総合評定者	評定点	第一次評定者	第二次評定者	総合評定者	評定点	第一次評定者	第二次評定者	総合評定者	評定点	
専門技術力	提案力改善力	業務着手段階における業務特徴等の考慮	○			④= ①×2/21	○			④= ①×2/21	○			④= ①×2/24	
		業務遂行段階における提案	○				○				○				
		業務遂行上必要な課題の提案	○				○				○				
		業務内容等改善の提案	○				○				○				
		小計	①			④	①			④	①			④	
	業務執行技術力	目的と内容の理解	○			④= ①×4/21×1/10+②×4/21×5/10+③×4/21×4/10	○			④= ①×4/21×1/10+②×4/21×5/10+③×4/21×4/10	○			④= ①×4/24×1/10+②×4/24×5/10+③×4/24×4/10	
		必要情報の把握	○				○				○				
		作業「業務」項目「作業」手法または、検討項目、検討手法	○	○			○				○				
		打ち合わせ資料の内容	○				○				○				
		十分な技術力	○				○				○				
小計	①	②		③	④	①	②	③	④	①	②	③	④		
プロセス評価	施工時への配慮 (設計時評価 設計業務を 対象に評定する。 イ、ロのいずれか を選択する。)	イ.『概略設計』 『予備設計』 の場合								△			△	④= ①×1/24	
		施工に関する一般的な知識									△				
		施工条件等の把握									△				
	小計									①			④		
	ロ.『詳細設計』 の場合	施工に関する一般的な知識									△			△	④= ①×1/24
		施工条件等の把握									△			△	
		施工計画 (施工方法、仮設構計画)									△			△	
	小計									①			④		
	コスト把握能力 (設計業務を対象に評定する。)	コスト把握能力									△			△	④= ①×1/24
		小計									①			④	
管理技術力	工程管理能力	実施手順、工程計画	○			④= ①×2/21	○			④= ①×2/21	○			④= ①×2/24	
		実施体制	○				○			○					
		打合せ内容の理解、記録	○				○			○					
		工程管理	○				○			○					
	小計	①			④	①			④	①			④		
品質管理能力	ミス防止の実施	○			④= ①×2/21	○			④= ①×2/21	○			④= ①×2/24		
	小計	①			④	①			④	①			④		
迅速性 弾力性 調整能力	当初計画の変更	○			④= ①×1/21	○			④= ①×1/21	○			④= ①×1/24		
	関連事業者間の調整	○				○				○					
	地元住民との合意形成	○				○				○					
小計	①			④	①			④	①			④			
コミュニケーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	○			④= ①×7/21×1/10+③×1/21×9/10	○			④= ①×7/21×1/10+③×1/21×9/10	○			④= ①×1/24×1/10+③×1/24×9/10	
		理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	○				○			○					
		説明を繰り返す努力 円滑な業務遂行への努力	○				○			○					
小計	①		③	④	①		③	④	①		③	④			
取組姿勢	責任感 積極性 倫理観	責任感、積極性	○			④= ①×2/21×1/10+②×2/21×9/10	○			④= ①×2/21×1/10+②×2/21×9/10	○			④= ①×2/24×1/10+②×2/24×9/10	
		責任感、積極性、倫理観	○	○			○			○					
小計	①	②		④	①	②		④	①	②		④			
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	○			④= ①×7/21×1/10+③×7/21×9/10	○			④= ①×7/21×1/10+③×7/21×9/10	○			④= ①×8/24×1/10+②×8/24×9/10	
		的確なとりまとめ	○				○			○					
		ミスの有無	○				○			○					
		小計	①		③	④	①		③	④	①		③	④	
⑤小計(注3)		⑤		⑤	⑤		⑤	⑤	⑤		⑤	⑤			
業務執行に係る過失に伴う減点	⑥業務執行上の過失		⑥		⑥		⑥	⑥		⑥		⑥			
	⑦守秘性に伴う過失		⑦		⑦		⑦	⑦		⑦		⑦			
⑧事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)					⑧			⑧				⑧			
⑨成果品に、発注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)					⑨			⑨				⑨			
⑩その他					⑩			⑩				⑩			
総合評点 (⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩)=⑪					⑪			⑪				⑪			

○ は、評価対象外
 ○ は、必須評定項目
 △ は、選択評定項目

注： 1. 「担当技術者」は、それぞれ3人までとする。
 2. 各評価項目の評定点は、少数第二位を四捨五入し、小数第一位までとする。
 3. 「①小計」は、少数第一位を四捨五入し整数とする。

評価項目		評価の視点	(4) 工事管理業務等				(5) 積算技術業務等						
			第一次評定者	第二次評定者	総合評定者	評定点	第一次評定者	第二次評定者	総合評定者	評定点			
プロセス評価	専門技術力	目的と内容の理解	業務主旨の理解										
		的確な履行	法令・技術基準の知識										
			業務内容についての判断				+ × (3/6) + × (3/50)				+ × (9/18) + × (9/50)		
			関係者とのコミュニケーション										
		業務目的の達成度	必要事項の記載										
		的確な取りまとめ											
		小計											
	管理技術力	業務実施体制の的確性	業務実施体制の的確性				= × (7/14) + × (7/50) +				= × (7/14) + × (7/50) +		
		打ち合わせの理解度	打ち合わせの理解度										
		指揮系統の迅速性、確実性	指揮系統の迅速性、確実性										
		小計											
	取組姿勢	責任感、積極性	責任感、積極性										
		小計											
		計				= + +				= + +			
過業務に執行に伴う減点	業務執行上の過失												
	中立性、公平性に係る過失												
	守秘性に係る過失												
	小計												
合計						= +				= +			
総合評定点の算定			事故等による減点				事故等による減点						
			瑕疵修補又は損害賠償による減点				瑕疵修補又は損害賠償による減点						
			その他()				その他()						
			総合評定点(+ + +)				総合評定点(+ + +)						
			= + +				= +						

= + + = +

適用評定表（採点表）

成績評定表種別	適用業務類型
(4) 工事管理業務等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場技術業務 ・ 調査計画資料作成業務 ・ 河川許認可審査支援業務 ・ ダム・排水機場管理支援業務 ・ 道路許認可審査・適正化指導業務 ・ 品質検査業務 ・ 河川巡視支援業務 ・ 水文観測所点検支援業務 ・ 道路巡回業務 <p style="text-align: right;">等</p>
(5) 積算技術業務等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積算技術業務 ・ 技術審査業務 <p style="text-align: right;">等</p>

9. 採点表

(1) 地質調査、単純調査等業務、測量作業 (第一次評定者用)

(1/4)

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優 標準 劣						
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
提案力 改善力	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 当該作業（業務）の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 当該作業（業務）の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析の手法・技術に関する提案がなされた。注1)
	業務遂行段階における提案	40	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 作業（業務）遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。注1)
	業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 当該作業（業務）で不足する課題が抽出された。 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
	業務内容等改善の提案	20	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 作業（業務）の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 作業（業務）の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
	小計	100							
プロセス評価 専門技術力 業務執行技術力	目的と内容の理解	20	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 業務（調査）計画書に必要事項が記載されていた。注2) 当該作業（業務）の目的、内容が理解されていた。 業務（調査）計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。注2) 特記仕様書等に示された当該作業（業務）と関連する他の作業（業務）、事業が理解されていた。
	必要情報の把握	20	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 作業（業務）着手時点において、適切に資料等が整備された。 作業（業務）実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 作業（業務）遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 作業（業務）遂行段階で、当該作業（業務）に有意な情報が自主的に提供された。
	作業（業務）項目 作業（業務）手法	20	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 作業（業務）項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 採用された作業（業務）手法の技術的内容は、作業（業務）の目的に適合していた。 作業（業務）目的に照らし必要な作業（業務）項目が不足無く設定され、作業（業務）項目間の整合も図られていた。 提案された作業（業務）手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注1)
	打ち合わせ資料の内容	20	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 打ち合わせ資料に大きなミスがなかった。 打ち合わせ資料に、作業（業務）を進めるにあたっての課題等が適切に盛り込まれていた。 打ち合わせ資料に、作業（業務）を進めるにあたっての課題解決策や提案等が適切に盛り込まれていた。 適用する諸基準類のない作業（業務）、若しくは難易度の高い作業（業務）等を進めるにあたり、的確な理論展開による説明が盛り込まれていた。
	十分な技術力	20	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 作業（業務）に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 特記仕様書等に示された当該作業（業務）固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。（測量においては、作業に応じた機器等が配置されていたことも併せて評価する） 作業（業務）遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 新たな、あるいは高度な調査・解析の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注1)
	小計	100							

注1) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

注2) 測量作業においては、山梨県公共測量作業規程第11条または、第109条に基づく作業計画をいう。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目			
			標準									
			優	1.0	0.8	0.6	0.4			劣		
プロセス評価 管理技術力	工程管理能力	実施手順 工程計画	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・契約書等に記載された期限内 (ex. 契約締結後14日以内) に業務工程表が提出され、速やかに作業 (業務) の着手がなされた。 ・業務実施方針及び工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。 ・業務実施方針又は詳細な工程表には、作業 (業務) 実施上のポイントとなる工程目標等が具体的に示されていた。 ・作業 (調査) 項目間の実施手順等が適切に計画されていた。 			
		実施体制	10	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書に基づき、管理技術者届け及び業務計画書が提出された。注1) ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、作業 (業務) が履行された。注1) ・配置された担当技術者若しくは照査技術者は、作業 (業務) 内容に応じた技術者が配置され、適正に履行された。 ・業務計画書 (業務組織計画) に示された実施体制は、本作業 (業務) の履行に対して十分な体制であった。注1) 		
		打合せ内容の理解、記録	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」							<ul style="list-style-type: none"> ・打合せ記録簿が、打合せ後速やかに提出された。 ・打合せ記録簿の記載内容が打ち合わせ結果を適切に反映し、打合せ後の進め方や懸案事項等が的確に整理されていた。 ・受注者内 (再委託先等を含む) で意志疎通がなされ、指示や打ち合わせ事項が、その後の資料等に適切に反映されていた。 ・打合せ時に生じた不明点等の協議・確認が適切になされ、打合せ内容が理解された (打合せ後に不明点等に対する問い合わせ等を発注者に行うことはなかった)。 	
		工程管理	40	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」								<ul style="list-style-type: none"> ・指示や注意を行う必要のあるような工程の遅れや、履行期限内に納品されない等はなかった。 ・設計図書に基づく作業状況の報告、履行報告等を適切な時期に提出していた。 ・関連する他の業務や工事等に影響を及ぼすことなく完了できた。 ・履行中のポイントとなる工程目標等も含め、全体を通して工程計画どおり完了できた。
		小計	100									
	品質管理能力	ミス防止の実施	100	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリスト等の品質管理の記録により、品質の管理がされたことを確認できた。 ・品質管理のためのシステムが構築されている部署で作業 (業務) が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。(ex. ISO9001等の認証取得状況と成果への反映の確認) 			
	小計	100										

注1) 測量作業においては、山梨県公共測量作業規程第11条または、第109条に基づく作業計画をいう。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			優	標準	標準	標準	劣			
1.0	0.8	0.6	0.4	0.2						
管理技術力	迅速性 弾力性 調整能力	当初計画の変更	40	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 作業(業務)遂行中に生じた、当初工程計画や作業(業務)内容の変更要請、あるいは調査職員の指示等に迅速に対応した。 その結果生じた検討(作業)内容が特に優れていた。
		関連事業者間の調整		30	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」					
		地元住民との合意形成	30		評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」					
	小計	100								
プロセス評価	説明力 協調性 プレゼンテーション力	理解しやすい説明 プレゼンテーション(資料)	30	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
		理解しやすい説明 プレゼンテーション(対応)		30	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					
		説明を補う努力	20		評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					
		円滑な業務遂行への努力		20	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」					
	小計	100								

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
					標準						
					優	1.0	0.8	0.6	0.4		
プロセス評価	取組姿勢	責任感 積極性 倫理観	責任感 積極性	100	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動はなかった。 ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ・作業（業務）遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ・作業（業務）遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			小計	100							
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・作業（業務）遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・作業（業務）成果は、作業（業務）目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業（業務）に対し必要な作業（業務）成果が得られた。注1) 	
		的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書にある検討項目、作業（業務）遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ・設計図書にある事項、作業（業務）遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 	
		ミスの有無	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。 ・成果品の品質に大きく影響しない（簡易に修正できる）表記・計算等のミスも認められなかった。 ・誤字・脱字、表記等、軽微なミスも認められなかった。 ・必要書類も整備されていた。 	
		小計	100								

注1) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
				優 標準 劣							
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」「0.4」「0.6」(基準点)「0.8」「1.0」を付与する。						<ul style="list-style-type: none"> ・当該作業(業務)の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 ・当該作業(業務)に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 ・当該作業(業務)に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 ・当該作業(業務)の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 ・当該作業(業務)に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 ・その他(理由:)	
		小計	100								
	取組姿勢	責任感 積極性 倫理観	責任感 積極性 倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」「0.4」「0.6」(基準点)「0.8」「1.0」を付与する。						<ul style="list-style-type: none"> ・企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。 ・当該作業(業務)遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 ・地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。 ・作業(業務)遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、作業(業務)を完成させた。 ・その他(理由:)
		小計	100								
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失			評価細目チェック数1つ毎に3点減点						<ul style="list-style-type: none"> ・業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。 ・関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行われなかった。 ・業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。 ・業務実施体制に問題があった。 ・その他(理由:)	
	守秘性に係る過失			評価細目チェック数1つ毎に3点減点(チェックは1つまで)							
										<ul style="list-style-type: none"> ・業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるものと発注者が判断した。 ・その他(理由:)	

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
				標準							
				優	標準			劣			
1.0	0.8	0.6	0.4	0.2							
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	作業(業務)項目 作業(業務)手法	50	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 作業(業務)項目は、特記仕様書等の設計図書項目を満足していた。 採用された作業(業務)手法の技術的内容は、作業(業務)の目的に適合していた。 作業(業務)目的に照らし必要な作業(業務)項目が不足無く設定され、作業(項目)項目間の整合も図られていた。 提案された作業(業務)手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注)
			十分な技術力	50	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 作業(業務)に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 特記仕様書等に示された当該作業(業務)固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。(測量においては、作業に応じた機器等が配置されていたことも併せて評価する) 作業(業務)遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注)
			小計	100							
	コミュニケーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	説明力 協調性	100	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 質問に対する確かな回答がなされ、一般論と当該作業(業務)固有の議論が明確に区別されていた。 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 説明当事者の説明が十分なされた。説明が不十分な場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。
			小計	100							
	結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 作業(業務)遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 作業(業務)成果は、作業(業務)目的に照らし満足できる内容のものであった。 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業(業務)に対し必要な作業(業務)成果が得られた。注)
的確なとりまとめ			30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 設計図書にある検討項目、作業(業務)遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 設計図書にある事項、作業(業務)遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 	
ミスの有無			30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。 成果品の品質に大きく影響しない(簡易に修正できる)表記・計算等のミスも認められなかった。 誤字・脱字、表記等、軽微なミスも認められなかった。 必要書類等も整備されていた。 	
小計			100								

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			優	標準	標準	劣	劣			
1.0	0.8	0.6	0.4	0.2						
プロセス評価 専門技術力	提案力 改善力	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 当該作業（業務）の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析の手法・技術に関する提案がなされた。注）
		業務遂行段階における提案	40	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。注）
		業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 当該業務で不足する課題が抽出された。 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
		業務内容等改善の提案	20	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
		小計	100							
	業務執行技術力	目的と内容の理解	20	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 業務（調査）計画書に必要事項が記載されていた。 当該業務の目的、内容が理解されていた。 業務（調査）計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されていた。
		必要情報の把握	20	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 業務遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。
		検討項目 検討手法	20	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 検討項目は、特記仕様書等の設計図書項目を満足していた。 採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注）
		打ち合わせ資料の内容	20	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 打ち合わせ資料に大きなミスがなかった。 打ち合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題等が適切に盛り込まれていた。 打ち合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題解決策や提案等が適切に盛り込まれていた。 適用する諸基準類のない業務、若しくは難易度の高い業務等を進めるにあたり、的確な理論展開による説明が盛り込まれていた。
		十分な技術力	20	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 新たな、あるいは高度な調査・解析等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注）
小計	100									

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目		
			標準								
			優	1.0	0.8	0.6	0.4			劣	
プロセス評価 管理技術力	工程管理能力	実施手順 工程計画	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・契約書等に記載された期限内 (ex. 契約締結後14日以内) に業務工程表が提出され、速やかに業務の着手がなされた。 ・業務実施方針及び工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。 ・業務実施方針又は詳細な工程表には、業務実施上のポイントとなる工程目標等が具体的に示されていた。 ・作業 (調査、検討) 項目間の実施手順等が適切に計画されていた。 	
		実施体制	10	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書に基づき、管理技術者届け及び業務計画書が提出された。 ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行された。 ・配置された担当技術者若しくは照査技術者は、業務内容に応じた技術者が配置され、適正に履行された。 ・業務計画書 (業務組織計画) に示された実施体制は、本業務の履行に対して十分な体制であった。 	
		打合せ内容の 理解、記録	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・打合せ記録簿が、打合せ後速やかに提出された。 ・打合せ記録簿の記載内容が打ち合わせ結果を適切に反映し、打合せ後の進め方や懸案事項等が的確に整理されていた。 ・受注者内 (再委託先等を含む) で意志疎通がなされ、指示や打ち合わせ事項が、その後の資料等に適切に反映されていた。 ・打合せ時に生じた不明点等の協議・確認が適切になされ、打合せ内容が理解された (打合せ後に不明点等に対する問い合わせ等を発注者に行うことはなかった) 。 	
		工程管理	40	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・指示や注意を行う必要のあるような工程の遅れや、履行期限内に納品されない等はなかった。 ・設計図書に基づく作業状況の報告、履行報告等を適切な時期に提出していた。 ・関連する他の業務や工事等に影響を及ぼすことなく完了できた。 ・履行中のポイントとなる工程目標等も含め、全体を通して工程計画どおり完了できた。 	
		小 計	100								
	品質管理能力	ミス防止の 実施	100	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・「業務計画書」における「成果品の品質を確保するための計画」に記述された内容とその活動を適切に実施した等、品質の管理がされたことを確認できた。 ・品質管理のためのシステムが構築されている部署で業務が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。 (ex. ISO9001等の認証取得状況と成果への反映の確認) 	
		小 計	100								

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			優	標準	標準	標準	劣			
1.0	0.8	0.6	0.4	0.2						
管理技術力	迅速性 弾力性 調整能力	当初計画の変更	40	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行中に生じた、当初工程計画や業務内容の変更要請、あるいは調査職員の指示等に迅速に対応した。 ・その結果生じた検討内容が特に優れていた。 	
		関連事業者間の調整	30	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示、あるいは発注者との協議結果に基づき、関連事業者間の調整に係わる提案資料が作成された。 ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		地元住民との合意形成	30	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						
		小 計	100							
プロセス評価	説明力 協調性 プレゼンテーション力	理解しやすい説明 プレゼンテーション (資料)	30	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 ・資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 ・資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。 	
		理解しやすい説明 プレゼンテーション (対応)	30	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 ・質問に対する確かな回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
		説明を補う 努力	20	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						
		円滑な業務 遂行への努力	20	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
		小 計	100							

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
					標準						
					優	標準			劣		
1.0	0.8	0.6	0.4	0.2							
プロセス評価	取組姿勢	責任感 積極性 倫理観	責任感 積極性	100	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動はなかった。 打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			小計	100							
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。注)
			的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
			ミスの有無	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。 成果品の品質に大きく影響しない(簡易に修正できる)表記・計算等のミスも認められなかった。 誤字・脱字、表記等、軽微なミスも認められなかった。 必要書類も整備されていた。
			小計	100							

注) 考査基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
				優 標準 劣							
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」「0.4」「0.6」(基準点)「0.8」「1.0」を付与する。						<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 ・当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 ・当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 ・当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 ・当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 	
											小計
	取組姿勢	責任感 積極性 倫理観	責任感 積極性 倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」「0.4」「0.6」(基準点)「0.8」「1.0」を付与する。						<ul style="list-style-type: none"> ・企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。 ・当該業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 ・地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。 ・業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完成させた。
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失			評価細目チェック数1つ毎に3点減点						<ul style="list-style-type: none"> ・業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。 ・関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行われなかった。 ・業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。 ・業務実施体制に問題があった。 	
	守秘性に係る過失			評価細目チェック数1つ毎に3点減点(チェックは1つまで)						<ul style="list-style-type: none"> ・業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるものと発注者が判断した。 	

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
				優 標準 劣							
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	検討項目 検討手法	50	評価細目チェック数=0 「0.2」 #1 「0.4」、#2 「0.6」 #3 「0.8」、#4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・検討項目は、特記仕様書等の設計図書項目を満足していた。 ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ・提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。(注)
			十分な技術力		50	評価細目チェック数=0 「0.2」 #1 「0.4」、#2 「0.6」 #3 「0.8」、#4 「1.0」					
		小計	100								
	コミュニケーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	説明力 協調性	100	評価細目チェック数=0 「0.2」 #1 「0.4」、#2 「0.6」 #3 「0.8」、#4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・質問に対する確かな回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ・説明当事者の説明が十分なされた。または、説明が不十分な場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。
			プレゼンテーション力		100	評価細目チェック数=0 「0.2」 #1 「0.4」、#2 「0.6」 #3 「0.8」、#4 「1.0」					
		小計	100								
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0 「0.2」 #1 「0.4」、#2 「0.6」 #3 「0.8」、#4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。(注) 	
		的確なとりまとめ		30	評価細目チェック数=0 「0.2」 #1 「0.4」、#2 「0.6」 #3 「0.8」、#4 「1.0」						
		ミスの有無	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 #1 「0.4」、#2 「0.6」 #3 「0.8」、#4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。 ・成果品の品質に大きく影響しない(簡易に修正できる)表記・計算等のミスも認められなかった。 ・誤字・脱字、表記等、軽微なミスも認められなかった。 ・必要書類等も整備されていた。 	
		小計		100							

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			優	標準			劣			
1.0	0.8	0.6	0.4	0.2						
プロセス評価 専門技術力	提案力 改善力	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされた。(注)
		業務遂行段階における提案	40	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。(注)
		業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 当該業務で不足する課題が抽出された。 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
		業務内容等改善の提案	20	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
		小計	100							
	業務執行技術力	目的と内容の理解	20	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 業務計画書に必要事項が記載されていた。 当該業務の目的、内容が理解されていた。 業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されていた。
		必要情報の把握	20	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 業務遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。
		検討項目 検討手法	20	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。(注)
		打ち合わせ資料の内容	20	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 打ち合わせ資料に大きなミスがなかった。 打ち合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題等が適切に盛り込まれていた。 打ち合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題解決策や提案等が適切に盛り込まれていた。 適用する諸基準類のない業務、若しくは難易度の高い業務等を進めるにあたり、的確な理論展開による説明が盛り込まれていた。
		十分な技術力	20	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。(注)
小計	100									

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			優	標準	劣	1.0	0.8			0.6
プロセス評価 専門技術力	施工時への配慮 (設計業務を対象に評価する。) 概略設計 予備設計	施工に関する一般的な知識	60	評価細目チェック数=0 「0.2」 "#=1 「0.4」、#=2 「0.6」 "#=3 「0.8」、#=4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 ・施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。 ・施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を有していた。 ・施工方法が周辺環境におよぼす一般的な影響を理解していた。 	
		施工条件の把握	40	評価細目チェック数=0 「0.2」 "#=1 「0.4」、#=2 「0.6」 "#=3 「0.8」、#=4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・担当者の施工に係わる要求事項を把握していた。 ・契約図書及び発注者に指示された施工に係わる関係機関等の情報を把握した。
		小計	100							
	施工時への配慮 (設計業務を対象に評価する。) 詳細設計	施工に関する一般的な知識	40	評価細目チェック数=0 「0.2」 "#=1 「0.4」、#=2 「0.6」 "#=3 「0.8」、#=4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 ・施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。 ・施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を有していた。 ・施工方法が周辺環境におよぼす一般的な影響を理解していた。 	
		施工条件の把握	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 "#=1 「0.4」、#=2 「0.6」 "#=3 「0.8」、#=4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・担当者の施工に係わる要求事項を把握していた。 ・契約図書及び発注者に指示された施工に係わる関係機関等の情報を把握した。
		施工計画 (施工方法、仮設備計画)	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 "#=1 「0.4」、#=2 「0.6」 "#=3 「0.8」、#=4 「1.0」						
小計	100									
コスト把握能力 (設計業務を対象に評価する。) コスト把握能力	コスト把握能力	100	評価細目チェック数=0 「0.2」 "#=1 「0.4」、#=2 「0.6」 "#=3 「0.8」、#=4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・工事費に関するコスト把握能力を有していた。 ・現地条件などの固有条件がコストに及ぼす影響を理解していた。 ・コスト縮減に係わる提案があった。 ・ライフサイクルコストや新技術・新工法等の総合的なコストを念頭においたコスト縮減に係わる提案があった。 		
	小計	100								

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			優	標準			劣			
1.0	0.8	0.6	0.4	0.2						
プロセス評価 管理技術力	工程管理能力	実施手順 工程計画	30	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・契約書等に記載された期限内 (ex. 契約締結後14日以内) に業務工程表が提出され、速やかに業務の着手がなされた。 ・業務実施方針及び工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。 ・業務実施方針又は詳細な工程表には、業務実施上のポイントとなる工程目標等が具体的に示されていた。 ・作業 (調査、検討、設計) 項目間の実施手順等が適切に計画されていた。
		実施体制	10	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書に基づき、管理技術者届け及び業務計画書が提出された。 ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行された。 ・配置された担当技術者若しくは照査技術者は、業務内容に応じた技術者が配置され、適正に履行された。 ・業務計画書 (業務組織計画) に示された実施体制は、本業務の履行に対して十分な体制であった。
		打合せ内容の 理解、記録	20	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・打合せ記録簿が、打合せ後速やかに提出された。 ・打合せ記録簿の記載内容が打ち合わせ結果を適切に反映し、打合せ後の進め方や懸案事項等が的確に整理されていた。 ・受注者内 (再委託先等を含む) で意志疎通がなされ、指示や打ち合わせ事項が、その後の資料等に適切に反映されていた。 ・打合せ時に生じた不明点等の協議・確認が適切になされ、打合せ内容が理解された (打合せ後に不明点等に対する問い合わせ等を発注者に行うことはなかった)。
		工程管理	40	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・指示や注意を行う必要のあるような工程の遅れや、履行期限内に納品されない等はなかった。 ・設計図書に基づく作業状況の報告、履行報告等を適切な時期に提出していた。 ・関連する他の業務や工事に影響を及ぼすことなく完了できた。 ・履行中のポイントとなる工程目標等も含め、全体を通して工程計画どおり完了できた。
	小計	100								
	品質管理能力 概略設計 予備設計	ミス防止の 実施	100	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・「業務計画書」における「成果品の品質を確保するための計画」に記述された内容とその活動を適切に実施した等、品質の管理がされたことを確認できた。 ・品質管理のためのシステムが構築されている部署で業務が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。 (ex. ISO9001等の認証取得状況と成果への反映の確認)
		小計	100							
	品質管理能力 詳細設計	ミス防止の 実施	100	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・業務計画書等に、照査体制、照査計画等が記載されていた。 ・業務計画書等に照査担当者が配置されていた。 ・照査報告書等の品質管理の記録により、照査が実施されたことを確認できた。 ・品質管理のためのシステムが構築されている部署で業務が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。 (ex. ISO9001等の認証取得状況と成果への反映の確認)
		小計	100							

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			優	標準	劣	1.0	0.8			0.6
管理技術力	迅速性 弾力性 調整能力	当初計画の変更	40	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行中に生じた、当初工程計画や業務内容の変更要請、あるいは調査職員の指示等に迅速に対応した。 ・その結果生じた検討内容が特に優れていた。
		関連事業者間の調整		30	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」					
		地元住民との合意形成	30		評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」					
		小計		100						
プロセス評価	説明力 協調性 プレゼンテーション力	理解しやすい説明 プレゼンテーション (資料)	30	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 ・資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 ・資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
		理解しやすい説明 プレゼンテーション (対応)		30	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					
		説明を補う 努力	20		評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					
		円滑な業務 遂行への努力		20	評価細目フィク数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」					
		小計	100							

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目		
					優 標準 劣								
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2				
プロセス評価	取組姿勢	責任感 積極性 倫理観	責任感 積極性	100	評価細目チェック数=0 「0.2」 #=1 「0.4」、#=2 「0.6」 #=3 「0.8」、#=4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動はなかった。 ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 		
			小計		100								
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0 「0.2」 #=1 「0.4」、#=2 「0.6」 #=3 「0.8」、#=4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。注) 		
			的確なとりまとめ		30	評価細目チェック数=0 「0.2」 #=1 「0.4」、#=2 「0.6」 #=3 「0.8」、#=4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 	
			ミスの有無			30	評価細目チェック数=0 「0.2」 #=1 「0.4」、#=2 「0.6」 #=3 「0.8」、#=4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。 ・成果品の品質に大きく影響しない(簡易に修正できる)表記・計算等のミスも認められなかった。 ・誤字・脱字、表記等、軽微なミスも認められなかった。 ・必要書類も整備されていた。
			小計		100								

注) 考査基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
				優		標準		劣			
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」「0.4」「0.6」(基準点)「0.8」「1.0」を付与する。						<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 ・当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 ・当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 ・当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 ・当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 ・その他(理由:) 	
											小計
	取組姿勢	責任感 積極性 倫理観	責任感 積極性 倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」「0.4」「0.6」(基準点)「0.8」「1.0」を付与する。						<ul style="list-style-type: none"> ・企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。 ・当該業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 ・地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。 ・業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完成させた。 ・その他(理由:)
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失			評価細目チェック数1つ毎に3点減点						<ul style="list-style-type: none"> ・業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。 ・関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行われなかった。 ・業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。 ・業務実施体制に問題があった。 ・その他(理由:) 	
	守秘性に伴う過失			評価細目チェック数1つ毎に3点減点(チェックは1つまで)						<ul style="list-style-type: none"> ・業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるものと発注者が判断した。 ・その他(理由:) 	

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目		
			優	標準			劣				
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2				
プロセス評価	業務執行技術力	検討項目 検討手法	50	評価細目チェック数=0 「0.2」 #=1 「0.4」、#=2 「0.6」 #=3 「0.8」、#=4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。(注) 	
		十分な技術力	50	評価細目チェック数=0 「0.2」 #=1 「0.4」、#=2 「0.6」 #=3 「0.8」、#=4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。(注) 	
		小計	100								
	コミュニケーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	説明力 協調性	100	評価細目チェック数=0 「0.2」 #=1 「0.4」、#=2 「0.6」 #=3 「0.8」、#=4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 質問に対する確かな回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 説明当事者の説明が十分なされた。または、説明が不十分な場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。
			プレゼンテーション力	100							
			小計	100							
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0 「0.2」 #=1 「0.4」、#=2 「0.6」 #=3 「0.8」、#=4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。(注) 	
		的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 #=1 「0.4」、#=2 「0.6」 #=3 「0.8」、#=4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 	
		ミスの有無	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 #=1 「0.4」、#=2 「0.6」 #=3 「0.8」、#=4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。 成果品の品質に大きく影響しない(簡易に修正できる)表記・計算等のミスも認められなかった。 誤字・脱字、表記等、軽微なミスも認められなかった。 必要書類等も整備されていた。 	
		小計	100								

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目	評価の視点	配点		得点率					得点	評価細目	
		重み	実点	標準							
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	専門技術力	目的と内容の理解	10	6	評価細目チェック数 =0 「0.2」 " =1 「0.4」 " =2 「0.6」 " =3 「0.8」 " =4 「1.0」					0	<input type="checkbox"/> ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務計画書に記載された内容を的確に理解していた。 <input type="checkbox"/> ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 <input type="checkbox"/> ・提出資料等に当該業務の特徴、注意すべき事項などが適切に記述されていた。(担当路線・河川等の地域特性など)
		小計	10	6						0	
	専門技術力	法令・技術基準の知識は十分か?	20	12	評価細目チェック数 =0 「0.2」 " =1 「0.4」 " =2 「0.6」 " =3 「0.8」 " =4 「1.0」					0	<input type="checkbox"/> ・業務に必要な法律・政令・通達等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務上必要となる、図面及び技術的資料について留意すべき、専門的知識を十分有していた。
		的確な履行	20	12	評価細目チェック数 =0 「0」 " =1 「0.2」 " =2 「0.4」 " =3 「0.6」 " =4 「0.8」 " =5 「1.0」					0	<input type="checkbox"/> ・業務着手時点において、業務に必要な資料等が整備されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階で、業務に必要な資料収集がなされていた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 <input type="checkbox"/> ・業務(現場)で発生した諸問題に対して十分対応できる能力を有していた。
		関係者とのコミュニケーションは適切か?	20	12	評価細目チェック数 =0 「0.2」 " =1 「0.4」 " =2 「0.6」 " =3 「0.8」 " =4 「1.0」					0	<input type="checkbox"/> ・日々の業務内容を調査(監督)職員に報告するなど常に連絡を密にしていた。 <input type="checkbox"/> ・緊急性のあるもの、ないものとの判断が適切に行われ、調査(監督)職員に分かりやすく伝えられた。 <input type="checkbox"/> ・現場での問題点などを迅速に調査(監督)職員に伝え、問題解決に繋がる提案をした。 <input type="checkbox"/> ・関係者(工事請負業者等)との対話を心がけ、トラブルがなかった。
	小計	60	36						0		
	専門技術力	業務目的の達成度	20	12	評価細目チェック数 =0 「0.2」 " =1 「0.4」 " =2 「0.6」 " =3 「0.8」 " =4 「1.0」					0	<input type="checkbox"/> ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・調査職員からの指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し十分な業務成果が得られた。
		業務に求められる的確な取りまとめがされているか?	10	6	評価細目チェック数 =0 「0.2」 " =1 「0.4」 " =2 「0.6」 " =3 「0.8」 " =4 「1.0」					0	<input type="checkbox"/> ・業務上作成、提出すべき資料に漏れが無かった。 <input type="checkbox"/> ・業務上作成する資料について、十分な理解の上で、適切に取りまとめられていた。 <input type="checkbox"/> ・業務上作成する資料が簡潔で理解しやすい表現となっていた。 <input type="checkbox"/> ・業務上、入手した情報を総合的に活用し、重要な点が理解しやすい取りまとめられていた。
	小計	30	18						0		
	専門技術力 計		100	60						0	
管理技術力	業務実施体制の的確性	40	14	評価細目チェック数 =0 「0.2」 " =1 「0.4」 " =2 「0.6」 " =3 「0.8」 " =4 「1.0」					0	<input type="checkbox"/> ・業務計画書等、必要書類が遅滞なく提出されていた。 <input type="checkbox"/> ・当該業務に必要な資格取得者が適切に配置されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が適切に履行された。 <input type="checkbox"/> ・履行期間を通じて安定的で十分な業務実施体制が確保されていた。	

評価項目	評価の視点		配点		得点率					得点	評価細目		
					優 標 準 劣								
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2				
重み	実点												
プロセス評価	管理技術力	打合せ内容の理解	発注者との打ち合わせは適切か？	20	7	評価細目フィク数 =0 「0.2」 " =1 「0.6」 " =2 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・打合せ記録が適切に整理され、遅滞なく作成されていた。 <input type="checkbox"/> ・受注者内の意思疎通が正確で、指示や打ち合わせ事項が的確に業務に反映された。		
		指揮系統の迅速性 確実性	情報伝達の基本は守られているか？	40	14	評価細目フィク数 =0 「0.2」 " =1 「0.4」 " =2 「0.6」 " =3 「0.8」 " =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> 関係者間の情報伝達が遅滞なく、確実に交わされていた。 <input type="checkbox"/> ・情報伝達の誤認等による問題が発生しなかった。 <input type="checkbox"/> ・当該業務に関する社内の情報伝達内容が書類により記録されていた。 <input type="checkbox"/> ・問題が発生した場合のバックアップ体制が確立していた。又は、対応が迅速に行われた。		
	管理技術力 計				100	35						0	
	取組姿勢	責任感、積極性	100	5	評価細目フィク数 =0 「0.2」 " =1 「0.4」 " =2 「0.6」 " =3 「0.8」 " =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・管理技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 <input type="checkbox"/> ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 <input type="checkbox"/> ・業務の内容・精度を向上させる新たな取組が自主的になされた。			
取組姿勢 計				100	5						0		
計					100						0		

評価項目	評価の視点	配点		得点率					得点	評価細目
		重み	実点	標準						
				優	標準	劣				
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失		-15	評価細目チェック数1つ毎に3点減点						<input type="checkbox"/> ・業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。 <input type="checkbox"/> ・関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行われなかった。 <input type="checkbox"/> ・業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。 <input type="checkbox"/> ・業務実施体制に問題があった。 <input type="checkbox"/> ・その他（理由： ）
	中立性・公平性に係る過失		-3	評価細目チェック数1つで3点減点（チェックは1つまで）						<input type="checkbox"/> ・中立性・公平性に関して、第三者から苦情があり、請負者に帰する過失があった。 <input type="checkbox"/> ・その他（理由： ）
	守秘性に係る過失		-3	評価細目チェック数1つで3点減点（チェックは1つまで）						<input type="checkbox"/> 業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるもと発注者が判断した。 <input type="checkbox"/> ・その他（理由： ）
計			-21						0	

配分	評価の視点		配点		得点率					得点	評価細目	
					優 標 準 劣							
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
重み	実点											
プロセス評価	専門技術力	業務目的の達成度	業務に求められる確かな取りまとめがされているか？	100	50	評価細目チェック数 =0 「0.2」 " =1 「0.4」 " =2 「0.6」 " =3 「0.8」 " =4 「1.0」					0	<input type="checkbox"/> ・業務上作成、提出すべき資料に漏れが無かった。 <input type="checkbox"/> ・業務上作成する資料について、十分な理解の上で、適切に取りまとめられていた。 <input type="checkbox"/> ・業務上作成する資料が簡潔で理解しやすい表現となっていた。 <input type="checkbox"/> ・業務上、入手した情報を総合的に活用し、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。
		小計		100	50						0	
	管理技術力	業務実施体制的的確性		100	50	評価細目チェック数 =0 「0.2」 " =1 「0.4」 " =2 「0.6」 " =3 「0.8」 " =4 「1.0」					0	<input type="checkbox"/> ・業務計画書等、必要書類が遅滞なく提出されていた。 <input type="checkbox"/> ・当該業務に必要な資格取得者が適切に配置されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が適切に履行された。 <input type="checkbox"/> ・履行期間を通じて安定的で十分な業務実施体制が確保されていた。
		小計		100	50						0	
計				100						0		

評価項目	評価の視点		配点		得点率					得点	評価細目
					優 標 準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
		重み	実点								
プロセス評価	専門技術力	目的と内容の理解	10	6	評価細目チェック数 =0 「0.2」 " =1 「0.4」 " =2 「0.6」 " =3 「0.8」 " =4 「1.0」					0	<input type="checkbox"/> ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務計画書に記載された内容を的確に理解していた。 <input type="checkbox"/> ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 <input type="checkbox"/> ・提出資料等に当該業務の特徴、注意すべき事項などが適切に記述されていた。(担当路線・河川等の地域特性など)
		小計	10	6						0	
	専門技術力	的確な履行	20	12	評価細目チェック数 =0 「0.2」 " =1 「0.4」 " =2 「0.6」 " =3 「0.8」 " =4 「1.0」					0	<input type="checkbox"/> ・業務に必要な法律・政令・通達等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務上必要となる、図面及び技術的資料について留意すべき、専門的知識を十分有していた。
		業務内容についての判断は的確か?	20	12	評価細目チェック数 =0 「0」 " =1 「0.2」 " =2 「0.4」 " =3 「0.6」 " =4 「0.8」 " =5 「1.0」					0	<input type="checkbox"/> ・業務着手時点において、業務に必要な資料等が整備されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階で、業務に必要な資料収集がなされていた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 <input type="checkbox"/> ・業務(現場)で発生した諸問題に対して十分対応できる能力を有していた。
	小計	40	24						0		
	専門技術力	業務目的の達成度	20	12	評価細目チェック数 =0 「0.2」 " =1 「0.4」 " =2 「0.6」 " =3 「0.8」 " =4 「1.0」					0	<input type="checkbox"/> ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・調査職員からの指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し十分な業務成果が得られた。
		業務に求められる的確な取りまとめがされているか?	30	18	評価細目チェック数 =0 「0.2」 " =1 「0.4」 " =2 「0.6」 " =3 「0.8」 " =4 「1.0」					0	<input type="checkbox"/> ・業務上作成、提出すべき資料に漏れが無かった。 <input type="checkbox"/> ・業務上作成する資料について、十分な理解の上で、適切に取りまとめられていた。 <input type="checkbox"/> ・業務上作成する資料が簡潔で理解しやすい表現となっていた。 <input type="checkbox"/> ・業務上、入手した情報を総合的に活用し、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。
	小計	50	30						0		
	専門技術力 計	100	60						0		
	管理技術力	業務実施体制の的確性	40	14	評価細目チェック数 =0 「0.2」 " =1 「0.4」 " =2 「0.6」 " =3 「0.8」 " =4 「1.0」					0	<input type="checkbox"/> ・業務上作成する資料が期限内に提出されていた。 <input type="checkbox"/> ・提出された資料について、管理技術者が内容を適切に把握していた。 <input type="checkbox"/> ・履行期間を通じて安定的で十分な業務実施体制が確保されていた。 <input type="checkbox"/> ・成果品の品質確保のためのチェック体制が構築され、有効に機能していた。

評価項目	評価の視点		配点		得点率					得点	評価細目	
					優 標 準 劣							
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
重み	実点											
プロセス評価	管理技術力	打合せ内容の理解	発注者との打ち合わせは適切か?	20	7	評価細目フィク数 =0 「0.2」 " =1 「0.6」 " =2 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・打合せ記録が適切に整理され、遅滞なく作成されていた。 <input type="checkbox"/> ・受注者内の意思疎通が正確で、指示や打ち合わせ事項が的確に業務に反映された。	
		指揮系統の迅速性 確実性	情報伝達の基本は守られているか?	40	14	評価細目フィク数 =0 「0.2」 " =1 「0.4」 " =2 「0.6」 " =3 「0.8」 " =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・関係者間の情報伝達が遅滞なく、確実に交わされていた。 <input type="checkbox"/> ・情報伝達の誤認等による問題が発生しなかった。 <input type="checkbox"/> ・当該業務に関する社内の情報伝達内容が書類により記録されていた。 <input type="checkbox"/> ・問題が発生した場合のバックアップ体制が確立していた。又は、対応が迅速に行われた。	
	管理技術力 計				100	35						0
	取組姿勢	責任感、積極性	100	5	評価細目フィク数 =0 「0.2」 " =1 「0.4」 " =2 「0.6」 " =3 「0.8」 " =4 「1.0」					<input type="checkbox"/> ・管理技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 <input type="checkbox"/> ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しなかった。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 <input type="checkbox"/> ・業務の内容・精度を向上させる新たな取組が自主的になされた。		
取組姿勢 計				100	5						0	
計					100						0	

評価項目	評価の視点	配点		得点率					得点	評価細目
		重み	実点	標準						
				優	標準	劣				
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失		-15	評価細目チェック数 1 つ毎に 3 点減点						<input type="checkbox"/> ・業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。 <input type="checkbox"/> ・関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行われなかった。 <input type="checkbox"/> ・業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。 <input type="checkbox"/> ・業務実施体制に問題があった。 <input type="checkbox"/> ・その他（理由： ）
	中立性・公平性に係る過失		-3	評価細目チェック数 1 つで 3 点減点（チェックは 1 つまで）						<input type="checkbox"/> ・中立性・公平性に関して、第三者から苦情があり、請負者に帰する過失があった。 <input type="checkbox"/> ・その他（理由： ）
	守秘性に係る過失		-3	評価細目チェック数 1 つで 3 点減点（チェックは 1 つまで）						<input type="checkbox"/> 業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるもと発注者が判断した。 <input type="checkbox"/> ・その他（理由： ）
計			-21						0	

評価項目	評価の視点		配点		得点率					得点	評価細目	
					優 標 準 劣							
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
重み	実点											
プロセス評価	専門技術力	業務目的の達成度	業務に求められる確かな取りまとめがされているか？	100	50	評価細目チェック数 =0 「0.2」 " =1 「0.4」 " =2 「0.6」 " =3 「0.8」 " =4 「1.0」					0	<input type="checkbox"/> ・業務上作成、提出すべき資料に漏れが無かった。 <input type="checkbox"/> ・業務上作成する資料について、十分な理解の上で、適切に取りまとめられていた。 <input type="checkbox"/> ・業務上作成する資料が簡潔で理解しやすい表現となっていた。 <input type="checkbox"/> ・業務上、入手した情報を総合的に活用し、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。
		小計		100	50						0	
	管理技術力	業務実施体制的的確性		100	50	評価細目チェック数 =0 「0.2」 " =1 「0.4」 " =2 「0.6」 " =3 「0.8」 " =4 「1.0」					0	<input type="checkbox"/> ・業務上作成する資料が期限内に提出されていた。 <input type="checkbox"/> ・提出された資料について、管理技術者が内容を適切に把握していた。 <input type="checkbox"/> ・履行期間を通じて安定的で十分な業務実施体制が確保されていた。 <input type="checkbox"/> ・成果品の品質確保のためのチェック体制が構築され、有効に機能していた。
		小計		100	50						0	
計				100							0	

10. 評定点集計表、算定表

評定点集計表 (地質調査、単純調査等業務、測量作業)

考査項目	第一次評定者 ()				第二次評定者 ()				総合評定者 ()				評定点	
	配点	得点率	得点	評定点	配点	得点率	得点	評定点	配点	得点率	得点	評定点		
プロセス評価														
専門技術力														
提案力、改善力	業務着手段階における業務特性等の考慮	20												= = ' × 2/21
	業務遂行段階における提案	40												
	業務遂行上必要となる課題の提案	20												
	業務内容等改善の提案	20												
	小 計	100	/	=	=									
業務執行技術力	目的と内容の理解	20												= = ' × 4/21 × 1/10 + ' × 4/21 × 5/10 + ' × 4/21 × 4/10
	必要情報の把握	20												
	作業(業務)項目、作業(業務)手法	20								50				
	打ち合わせ資料の内容	20												
	十分な技術力	20								50				
業務執行技術力					100									
小 計	100	/	=	=	100	/	=	=	100	/	=	=	=	
専門技術力 計		200	/			100	/			100	/			
管理技術力														
工程管理能力	実施手順、工程計画	30												= = ' × 2/21
	実施体制	10												
	打合せ内容の理解、記録	20												
	工程管理	40												
小 計	100	/	=	=									=	
品質管理能力	ミス防止の実施	100												= = ' × 2/21
	小 計	100	/	=	=									=
迅速性、弾力性、調整能力	当初計画の変更	40												= = ' × 2/21
	関連事業者間の調整	30												
	地元住民との合意形成	30												
	小 計	100	/	=	=									
管理技術力 計		300	/											
コミュニケーション力														
説明力、協調性、プレゼンテーション力	理解しやすい説明・プレゼンテーション力(資料)	30												= = ' × 1/21 × 1/10 + ' × 1/21 × 9/10
	理解しやすい説明・プレゼンテーション力(対応)	30												
	説明を補う努力	20												
	円滑な業務遂行への努力	20												
	説明力、協調性、プレゼンテーション力									100				
小 計	100	/	=	=					100	/	=	=	=	
コミュニケーション力 計		100	/							100	/			
取組姿勢														
責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100												= = ' × 2/21 × 1/10 + ' × 2/21 × 9/10
	責任感、積極性、倫理観					100								
	小 計	100	/	=	=	100	/	=	=					
取組姿勢 計		100	/			100	/							
結果評価														
成果品の品質	目的の達成度	40								40				= = ' × 7/21 × 1/10 + ' × 7/21 × 9/10
	的確なとりまとめ	30								30				
	ミスの有無	30								30				
	小 計	100	/	=	=					100	/	=	=	
評定者の評定点(第二次評定者の業務執行上の過失の減点は含んでいない。)														

総合評定点算定表 (地質調査、単純調査等業務、測量作業)

考 査 項 目	評 定 点	業務評定				技術者評定							
		加重平均点の算出		評定点	加重平均点の算出		管理技術者・主任技術者		担当技術者		照査技術者		
		重み	/		重み	/	重み	/	重み	/	重み	/	
		満点評定点	(%)		満点評定点	(%)	満点評定点	(%)	満点評定点	(%)	満点評定点	(%)	
プロセス評価													
専門技術力													
提案力、改善力		2	/ 9.5	÷ ×	2	/ 9.5	÷ ×	2	/ 15.4				
		9.5			9.5			15.4					
業務執行技術力		4	/ 19	÷ ×	4	/ 19	÷ ×	4	/ 30.8				
		19			19			30.8					
管理技術力													
工程管理能力		2	/ 9.5	÷ ×	2	/ 9.5							
		9.5			9.5								
品質管理能力		2	/ 9.5	÷ ×	2	/ 9.5				÷ ×	2	/ 66.7	
		9.5			9.5						66.7		
迅速性、弾力性、調整能力		1	/ 4.8	÷ ×	1	/ 4.8							
		4.8			4.8								
コミュニケーション力													
説明力、協調性、プレゼンテーション力		1	/ 4.8	÷ ×	1	/ 4.8	÷ ×	1	/ 7.7				
		4.8			4.8			7.7					
取組姿勢													
責任感、積極性、倫理観		2	/ 9.5	÷ ×	2	/ 9.5	÷ ×	2	/ 15.4				
		9.5			9.5			15.4					
結果評価													
成果品の品質		7	/ 33.3	÷ ×	7	/ 33.3	÷ ×	4	/ 30.8	÷ ×	1	/ 33.3	
		33.3			33.3			30.8			33.3		
小計		21	/ 100		21	/ 100		13	/ 100		3	/ 100	
		100			100			100			100		
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失												
	守秘性にかかる過失												
事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)													
成果品に、受託者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点 (軽微なミスの修正を除く)													
その他													
総合評定点の算定	総合評定点 = + + + + +												
所見	第一次評定者				第二次評定者				総合評定者				

評定点集計表

(調査業務、計画業務)

考 査 項 目	第一次評定者 ()				第二次評定者 ()				総合評定者 ()				評定点	
	配点	得点率	得点	評定点	配点	得点率	得点	評定点	配点	得点率	得点	評定点		
プロセス評価														
専門技術力														
提案力、改善力	業務着手段階における業務特性等の考慮	20												= = ' × 2/21
	業務遂行段階における提案	40												
	業務遂行上必要となる課題の提案	20												
	業務内容等改善の提案	20												
	小 計	100	/	=	=									
業務執行技術力	目的と内容の理解	20												= = ' × 4/21 × 1/10 + ' × 4/21 × 5/10 + ' × 4/21 × 4/10
	必要情報の把握	20												
	検討項目、検討手段	20								50				
	打ち合わせ資料の内容	20												
	十分な技術力	20								50				
	業務執行技術力					100								
	小 計	100	/	=	=	100	/	=	=	100	/	=	=	
専門技術力 計	200	/			100	/			100	/				
管理技術力														
工程管理能力	実施手順、工程計画	30												= = ' × 2/21
	実施体制	10												
	打合せ内容の理解、記録	20												
	工程管理	40												
	小 計	100	/	=	=									
品質管理能力	ミス防止の実施	100												= = ' × 2/21
	小 計	100	/	=	=									=
迅速性、弾力性、調整能力	当初計画の変更	40												= = ' × 2/21
	関連事業者間の調整	30												
	地元住民との合意形成	30												
	小 計	100	/	=	=									
管理技術力 計	300	/												
コミュニケーション力														
説明力、協調性、プレゼンテーション力	理解しやすい説明・プレゼンテーション力(資料)	30												= = ' × 1/21 × 1/10 + ' × 1/21 × 9/10
	理解しやすい説明・プレゼンテーション力(対応)	30												
	説明を補う努力	20												
	円滑な業務遂行への努力	20												
	説明力、協調性、プレゼンテーション力									100				
小 計	100	/	=	=					100	/	=	=	=	
コミュニケーション力 計	100	/							100	/				
取組姿勢														
責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100												= = ' × 2/21 × 1/10 + ' × 2/21 × 9/10
	責任感、積極性、倫理観					100								
	小 計	100	/	=	=	100	/	=	=					
取組姿勢 計	100	/			100	/								
結果評価														
成果品の品質	目的の達成度	40								40				= = ' × 7/21 × 1/10 + ' × 7/21 × 9/10
	的確なとりまとめ	30								30				
	ミスの有無	30								30				
	小 計	100	/	=	=					100	/	=	=	
評定者の評定点(第二次評定者の業務執行上の過失の減点は含んでいない。)														

総合評定点算定表 (調査業務、計画業務)

考 査 項 目	評 定 点	業務評定				技術者評定											
		加重平均点の算出				管理技術者・主任技術者				担当技術者				照査技術者			
		評定点	重み	/	満点評定点	評定点	重み	/	満点評定点	評定点	重み	/	満点評定点	評定点	重み	/	満点評定点
			(%)	(%)			(%)	(%)									
プロセス評価																	
専門技術力																	
提案力、改善力		2	/ 9.5	÷ ×	2	/ 9.5	÷ ×	2	/ 15.4								
		9.5			9.5			15.4									
業務執行技術力		4	/ 19	÷ ×	4	/ 19	÷ ×	4	/ 30.8								
		19			19			30.8									
管理技術力																	
工程管理能力		2	/ 9.5	÷ ×	2	/ 9.5											
		9.5			9.5												
品質管理能力		2	/ 9.5	÷ ×	2	/ 9.5						÷ ×	2	/ 66.7			
		9.5			9.5								66.7				
迅速性、弾力性、調整能力		1	/ 4.8	÷ ×	1	/ 4.8											
		4.8			4.8												
コミュニケーション力																	
説明力、協調性、プレゼンテーション力		1	/ 4.8	÷ ×	1	/ 4.8	÷ ×	1	/ 7.7								
		4.8			4.8			7.7									
取組姿勢																	
責任感、積極性、倫理観		2	/ 9.5	÷ ×	2	/ 9.5	÷ ×	2	/ 15.4								
		9.5			9.5			15.4									
結果評価																	
成果品の品質		7	/ 33.3	÷ ×	7	/ 33.3	÷ ×	4	/ 30.8	÷ ×	1	/ 33.3					
		33.3			33.3			30.8			33.3						
小計		21	/ 100		21	/ 100		13	/ 100		3	/ 100					
		100			100			100			100						
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失																
	守秘性にかかる過失																
事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)																	
成果品に、受託者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点 (軽微なミスの修正を除く)																	
その他																	
総合評定点の算定	総合評定点 = + + + + +																
所見	第一次評定者				第二次評定者				総合評定者								

評定点集計表 (設計業務)

考査項目	第一次評定者 ()				第二次評定者 ()				総合評定者 ()				評定点	
	配点	得点率	得点	評定点	配点	得点率	得点	評定点	配点	得点率	得点	評定点		
プロセス評価														
専門技術力														
提案力、改善力	業務着手段階における業務特性等の考慮	20												= = ' × 2/24
	業務遂行段階における提案	40												
	業務遂行上必要となる課題の提案	20												
	業務内容等改善の提案	20												
	小 計	100	/	=	=									
業務執行技術力	目的と内容の理解	20												= = ' × 4/24 × 1/10 + ' × 4/24 × 5/10 + ' × 4/24 × 4/10
	必要情報の把握	20												
	検討項目、検討手法	20							50					
	打ち合わせ資料の内容	20												
	十分な技術力	20								50				
	業務執行技術力					100	/	=	=					
小 計	100	/	=	=	100	/	=	=	100	/	=	=	=	
施工時への配慮	施工に関する一般的な知識	60												= = ' × 1/24
	施工条件の把握	40												
	小 計	100	/	=	=								=	
コスト把握能力	コスト把握能力	100												= = ' × 1/24
	小 計	100	/	=	=								=	
専門技術力 計		400	/			100	/			100	/			
管理技術力														
工程管理能力	実施手順、工程計画	30												= = ' × 2/24
	実施体制	10												
	打合せ内容の理解、記録	20												
	工程管理	40												
	小 計	100	/	=	=								=	
品質管理能力	ミス防止の実施	100												= = ' × 2/24
	小 計	100	/	=	=								=	
迅速性、弾力性、調整能力	当初計画の変更	40												= = ' × 1/24
	関連事業者間の調整	30												
	地元住民との合意形成	30												
	小 計	100	/	=	=								=	
管理技術力 計		300	/											
コミュニケーション力														
説明力、協調性、プレゼンテーション力	理解しやすい説明・プレゼンテーション力(資料)	30												= = ' × 1/24 × 1/10 + ' × 1/24 × 9/10
	理解しやすい説明・プレゼンテーション力(対応)	30												
	説明を補う努力	20												
	円滑な業務遂行への努力	20												
	説明力、協調性、プレゼンテーション力									100	/	=	=	
小 計	100	/	=	=					100	/	=	=	=	
コミュニケーション力 計		100	/							100	/			
取組姿勢														
責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100												= = ' × 2/24 × 1/10 + ' × 2/24 × 9/10
	責任感、積極性、倫理観					100	/	=	=					
	小 計	100	/	=	=	100	/	=	=				=	
取組姿勢 計		100	/			100	/							
結果評価														
成果品の品質	目的の達成度	40								40				= = ' × 8/24 × 1/10 + ' × 8/24 × 9/10
	的確なとりまとめ	30								30				
	ミスの有無	30								30				
	小 計	100	/	=	=					100	/	=	=	
評定者の評定点(第二次評定者の業務執行上の過失の減点は含んでいない。)														

総合評定点算定表 (設計業務)

考 査 項 目	評 定 点	業務評定						技術者評定						
		加重平均点の算出				管理技術者・主任技術者		担当技術者				照査技術者		
		評 定 点	重 み	/	満 点 評 定 点	評 定 点	重 み	/	評 定 点	重 み	/	評 定 点	重 み	/
			(%)	(%)			(%)	(%)						
プロセス評価														
専門技術力														
提案力、改善力		2	/ 8.3	÷ ×	2	/ 8.3	÷ ×	2	/ 12.5					
		8.3			8.3			12.5						
業務執行技術力		4	/ 16.7	÷ ×	4	/ 16.7	÷ ×	4	/ 25					
		16.7			16.7			25						
施工時への配慮		1	/ 4.2	÷ ×	1	/ 4.2	÷ ×	1	/ 6.3					
		4.2			4.2			6.3						
コスト把握能力		1	/ 4.2	÷ ×	1	/ 4.2	÷ ×	1	/ 6.3					
		4.2			4.2			6.3						
管理技術力														
工程管理能力		2	/ 8.3	÷ ×	2	/ 8.3								
		8.3			8.3									
品質管理能力		2	/ 8.3	÷ ×	2	/ 8.3				÷ ×	2	/ 66.7		
		8.3			8.3						66.7			
迅速性、弾力性、調整能力		1	/ 4.2	÷ ×	1	/ 4.2								
		4.2			4.2									
コミュニケーション力														
説明力、協調性、プレゼンテーション力		1	/ 4.2	÷ ×	1	/ 4.2	÷ ×	1	/ 6.3					
		4.2			4.2			6.3						
取組姿勢														
責任感、積極性、倫理観		2	/ 8.3	÷ ×	2	/ 8.3	÷ ×	2	/ 12.5					
		8.3			8.3			12.5						
結果評価														
成果品の品質		8	/ 33.3	÷ ×	8	/ 33.3	÷ ×	5	/ 31.3	÷ ×	1	/ 33.3		
		33.3			33.3			31.3			33.3			
小計		24	/ 100		24	/ 100		16	/ 100		3	/ 100		
		100			100			100			100			
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失													
	守秘性にかかる過失													
事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)														
成果品に、受託者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)														
その他														
総合評定点の算定	総合評定点 = + + + + +													
所見	第一次評定者				第二次評定者				総合評定者					

評定点集計表 (工事管理業務等)

考査項目	第一次評定者 ()				第二次評定者 ()				総合評定者 ()				評定点	
	配点	得点率	得点	評定点	配点	得点率	得点	評定点	配点	得点率	得点	評定点		
プロセス評価														
専門技術力														
目的と内容の理解	業務主旨の理解	6												
	小計	6												
的確な履行	法令・技術基準の知識	12												
	業務内容についての判断	12												
	関係者とのコミュニケーション	12												
	小計	36												
業務目的の達成度	必要事項の記載	12			=									+ ×1/2+
	的確な取りまとめ	6			=				50			=		×3/50
	小計	18							50					
専門技術力 計		60							50					
管理技術力														
業務実施体制的的確性	業務実施体制的的確性	14			=				50			=		×1/2+ ×7/50
	小計	14							50					2.8
打合せ内容の理解	打ち合わせの理解度	7												
	小計	7												1.4
指揮系統の迅速性、確実性	指揮命令の迅速性、確実性	14												
	小計	14												2.8
管理技術力 計		35							50					
取組姿勢														
責任感、積極性	責任感、積極性	5												
	小計	5												
取組姿勢 計		5												
評定者の評定点(第二次評定者の業務執行上の過失の減点は含んでいない。)														

総合評定点算定表 (工事管理業務等)

考 査 項 目		評 定 点	業務評定				技術者評定											
							管理技術者・主任技術者				担当技術者				照査技術者			
			加重平均点の算出				加重平均点の算出				加重平均点の算出				加重平均点の算出			
			重み	評点 / 満点評定点	重み	評点 / 満点評定点	重み	評点 / 満点評定点	重み	評点 / 満点評定点	重み	評点 / 満点評定点	重み	評点 / 満点評定点	重み	評点 / 満点評定点	重み	評点 / 満点評定点
		(%)				(%)				(%)				(%)				
プロセス評価																		
専門技術力																		
目的と内容の理解				6	/ 6		6	/ 6		6	/ 6							
				6			6			6								
的確な履行				36	/ 36		36	/ 36		36	/ 36							
				36			36			36								
業務目的の達成度				18	/ 18		18	/ 18		18	/ 18							
				18			18			18								
管理技術力																		
業務実施体制の的確性				14	/ 14		14	/ 14		14	/ 14							
				14			14			14								
打合せ内容の理解				7	/ 7		7	/ 7		7	/ 7							
				7			7			7								
指揮系統の迅速性、確実性				14	/ 14		14	/ 14		14	/ 14							
				14			14			14								
取組姿勢																		
責任感、積極性				5	/ 5		5	/ 5		5	/ 5							
				5			5			5								
小計				100	/ 100		100	/ 100		100	/ 100					/		
				100			100			100					100			
業務執行に係る過失に伴う減点		業務執行上の過失																
		中立性、公平性に係る過失																
		守秘性にかかる過失																
		小計																
事故等による減点 (業務遂行段階を対象とする)																		
瑕疵修補又は損害賠償による減点																		
その他																		
総合評定点の算定		総合評定点 = + + + +																
所見		第一次評定者					第二次評定者					総合評定者						

評定点集計表 (積算技術業務等)

考査項目		第一次評定者 ()				第二次評定者 ()				総合評定者 ()				評定点	
		配点	得点率	得点	評定点	配点	得点率	得点	評定点	配点	得点率	得点	評定点		
プロセス評価															
専門技術力															
目的と内容の理解	業務主旨の理解	6													
	小計	6													
的確な履行	法令・技術基準の知識	12													
	業務内容についての判断	12													
	小計	24													
業務目的の達成度	必要事項の記載	12			=										+ × 1/2 +
	的確な取りまとめ	18			=					50			=		× 9/50
	小計	30								50					
専門技術力 計		60								50					
管理技術力															
業務実施体制の的確性	業務実施体制の的確性	14			=					50			=		× 1 / 2 + × 7 / 50
	小計	14								50					
打合せ内容の理解	打ち合わせの理解度	7													
	小計	7													
指揮系統の迅速性、確実性	指揮命令の迅速性、確実性	14													
	小計	14													
管理技術力 計		35								50					
取組姿勢															
責任感、積極性	責任感、積極性	5													
	小計	5													
取組姿勢 計		5													
評定者の評定点 (第二次評定者の業務執行上の過失の減点は含んでいない。)															

総合評定点算定表 (積算技術業務等)

考 査 項 目		評定点	業務評定			技術者評定								
						管理技術者・主任技術者			担当技術者			照査技術者		
			加重平均点の算出			加重平均点の算出			加重平均点の算出			加重平均点の算出		
			評定点	重み	評点 / 満点評定点	評定点	重み	評点 / 満点評定点	評定点	重み	評点 / 満点評定点	評定点	重み	評点 / 満点評定点
重み 満点評定点	(%)	重み 満点評定点		(%)	重み 満点評定点		(%)	重み 満点評定点		(%)				
プロセス評価														
専門技術力														
目的と内容の理解			6	/ 6		6	/ 6		6	/ 6				
			6			6			6					
的確な履行			24	/ 24		24	/ 24		24	/ 24				
			24			24			24					
業務目的の達成度			30	/ 30		30	/ 30		30	/ 30				
			30			30			30					
管理技術力														
業務実施体制の的確性			14	/ 14		14	/ 14		14	/ 14				
			14			14			14					
打合せ内容の理解			7	/ 7		7	/ 7		7	/ 7				
			7			7			7					
指揮系統の迅速性、確実性			14	/ 14		14	/ 14		14	/ 14				
			14			14			14					
取組姿勢														
責任感、積極性			5	/ 5		5	/ 5		5	/ 5				
			5			5			5					
小計			100	/ 100		100	/ 100		100	/ 100		/		
			100			100			100			100		
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失													
	中立性、公平性に係る過失													
	守秘性にかかる過失													
	小計													
事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)														
瑕疵修補又は損害賠償による減点														
その他														
総合評定点の算定	総合評定点 = + + + +													
所見	第一次評定者			第二次評定者						総合評定者				

考查基準（営繕関係）

1. 評定の方法

評定は、別添の採点表を用いて行うものとし、評価項目、評価の視点及び評価細目の変更、追加、削除並びに配点の変更は行わないものとする。

2. 第一次評定者、第二次評定者の評点

第一次・二次評定者の評点の作成手順は、次によるものとする。

① 第二次評定者は、採点表の①第二次評定者用を用いて、第二次評定者評定点を作成する。

② 第一次評定者は、採点表の②－1 第一次評定者用（総合）を用いて、第一次評定者の総合評定点を作成する。

また、採点表の②－2 第一次評定者用（各分野）を用いて、第一次評定者の各分野評定点を作成する。

③ 各分野評定点の合計は、各分野評定点に各分野比率を乗じて得た点の総計とし、小数第二位を四捨五入する。なお、各分野比率は、表－1 を参考として、合計が1.0 となるように業務量に応じて比例配分する。

表－1 発注方法による各分野比率例

発注方法	建築			電気設備		機械設備	
	意匠	構造	積算	電気設備	積算	機械設備	積算
設計・積算込みの場合	0.35	0.15	0.10	0.15	0.05	0.15	0.05
設計のみの場合(建築・設備込み)	0.42	0.18	—	0.20	—	0.20	—
設計のみの場合(建築のみ)	0.70	0.30	—	—	—	—	—
設計のみの場合(設備のみ)	—	—	—	0.50	—	0.50	—
積算のみの場合(建築・設備込み)	—	—	0.50	—	0.25	—	0.25
積算のみの場合(建築のみ)	—	—	1.00	—	—	—	—
積算のみの場合(設備のみ)	—	—	—	—	0.50	—	0.50

- ④ 第一次評定者評定点は、総合評定点及び各分野評定点の合計に比率を乗じて得た点の総計とし、小数第二位を四捨五入する。なお、比率は、総合評定点0.2、各分野評定点の合計0.8とする。
- ⑤ 第一次・二次評定者の評定点は、第二次評定者評定点及び第一次評定者評定点に比率を乗じて得た点の総計とし、小数第一位を四捨五入して整数にする。なお、比率は、第二次評定者評定点0.3、第一次評定者評定点0.7とする。

3. 総合評定者の評点

総合評定者の評点の作成手順は、次によるものとする。

- ① 総合評定者は、採点表の③総合評定者用（各分野）を用いて、総合評定者の各分野評定点を作成する。
- ② 総合評定者の評定点は、各分野評定点に各分野比率を乗じて得た点の総計とし、小数第一位を四捨五入して整数にする。なお、各分野比率は、表-1を参考として、合計が1.0になるように業務量に応じて比例配分する。

4. 総合評定点

総合評定点の作成手順は、次によるものとする。

- ① 総合評定点は、第一次・二次評定者の評定点及び総合評定者の評定点に比率を乗じて得た点の総計とし、小数第一位を四捨五入して整数にする。なお、比率は、第一次・二次評定者の評定点0.6、総合評定者の評定点0.4とする。
- ② 当該業務遂行中に受注者に起因する事故等が発生し、当該業務に関し指名停止等の措置を行った場合には、**第1号様式-2の事故等による減点を**、表-2を参考として-15点まで減点することができる。（第二次評定者）

表-2 受託者に起因する事故等が発生した場合の減点基準

区 分	口頭注意	文書注意	指名停止1ヶ月まで	指名停止が1ヶ月を超える
考 査 点	-3点	-5点	-10点	-15点

【適応事例】

- ・ 入札前に提出した当該業務の技術提案書等が虚偽であった事実が判明した。
- ・ 発注者の承諾なしに当該業務に関する権利義務、成果物を第三者に譲渡又は承継、公開した。
- ・ 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。
- ・ 一括再委託、請負を行った。
- ・ 打ち合わせ協議または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。
- ・ 当該業務において過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。
- ・ 当該業務において安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた業務関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。
- ・ その他（理由： ）

- ③ 成果品に、受託者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約書のかし担保条項等に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合には、**第1号様式-2において、瑕疵修補及び損害賠償による減点を、**表-3を参考として-20点まで減点することができる。ただし、ここでいう瑕疵修補とは、軽微なミスの修正ではない大幅な修補をいう。また、総合評点が採点された後に当該事象が発生した場合は、遡って減点を実施するものとする。（第二次評定者）

表-3 瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点基準

区 分	瑕疵修補又は損害賠償の実施		故意又は重大な過失により瑕疵修補又は損害賠償の実施
考 査 点	-10点		-20点

④ 総合評価落札方式における減点

総合評価で求めた実施方針等について、実施方針の内容を満たすことができなかった場合は、「受注者に起因する事故等が発生した場合の減点基準」の口頭注意における減点項目で、評価項目ごとに3点減ずる。

5. 採点表

集計用

採点表の種類別		第二次 評定者	第一次評定者								
			総合	各分野							
				建築			電気設備		機械設備		
				意匠	構造	積算	電気設備	積算	機械設備	積算	
①	②-1	②-2	②-2	②-3	②-2	②-3	②-2	②-3			
業務の実施能力	業務実施体制	○	○	-	-	○	-	○	-	○	
	管理技術者	○	○	-	-	-	-	-	-	-	
	主任担当技術者	○	-	○	○	○	○	○	○	○	
業務の実施状況	工程及び品質管理能力	○	-	○	○	-	○	-	○	-	
	調整能力、対応の迅速性、説明能力、倫理観	○	-	○	○	-	○	-	○	-	
	提案力、業務執行技術力	○	-	○	○	-	○	-	○	-	
	工程	-	-	-	-	○	-	○	-	○	
	業務執行技術力	-	-	-	-	○	-	○	-	○	
設計図書の出来栄	図面表記	○	-	○	○	-	○	-	○	-	
	図面の不足・単純ミス	○	-	○	○	-	○	-	○	-	
	資料等の整理	○	-	○	○	-	○	-	○	-	
	数量計算書、数量調書等	-	-	-	-	○	-	○	-	○	
	資料の整理	-	-	-	-	○	-	○	-	○	
設計の達成度	設計と条件の理解	○	-	○	○	-	○	-	○	-	
	提案内容、検討状況、コスト把握能力	○	-	○	○	-	○	-	○	-	
	施工面の知識	○	-	○	○	-	○	-	○	-	
調査職員評定点の計算	各分野評定点	①	-	-							
	各分野比率	②	-	-							
	①×②	③	-	-							
	総合評定点、各分野評定点の合計(Σ③)	④	-								
	総合評定点、各分野評定点の合計の比率	⑤	-								
	④×⑤	⑥	-								
	第一次・二次評定者評定点(Σ⑥)	⑦									
	第一次・二次評定者評定点の比率	⑧									
	⑦×⑧	⑨									
	第一次・二次評定者評定点(Σ⑨)	⑩									

採点表の種類		総合評定者							
		各分野							
		建築			電気設備		機械設備		
		意匠	構造	積算	電気設備	積算	機械設備	積算	
③-1	③-1	③-2	③-1	③-2	③-1	③-2			
設計図書の出来栄	図面表記	○	○	-	○	-	○	-	
	図面の不足・単純ミス	○	○	-	○	-	○	-	
	資料等の整理	○	○	-	○	-	○	-	
	数量計算書、数量調書等	-	-	○	-	○	-	○	
	資料の整理	-	-	○	-	○	-	○	
設計の達成度	設計と条件の理解	○	○	-	○	-	○	-	
	提案内容、検討状況、コスト把握能力	○	○	-	○	-	○	-	
	施工面の知識	○	○	-	○	-	○	-	
検査職員評定点の計算	各分野評定点	⑪							
	各分野比率	⑫							
	⑪×⑫	⑬							
	総合評定点、各分野評定点の合計(Σ⑬)	⑭							

※ ○印は評定範囲をしめす。

採点表 ① 第二次評定者用

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	第二次評定者 評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
業務の実施能力	業務実施体制	実施体制	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」				<input type="checkbox"/> ・契約図書に基づき、管理技術者届けが提出された。 <input type="checkbox"/> ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務を効率的あるいは円滑に遂行できるよう、適切な構成となっていた。 <input type="checkbox"/> ・業務を効率的あるいは円滑に遂行できるよう、必要な人員数が確保されていた。	
	管理技術者	管理技術者としての資質	5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」				<input type="checkbox"/> ・業務全体を把握し、技術者・業務の管理調整を行った。 <input type="checkbox"/> ・適切な工程、コスト管理を行った。 <input type="checkbox"/> ・設計と条件を的確に理解しており、円滑な業務遂行がなされた。 <input type="checkbox"/> ・創意工夫や積極的な取り組み姿勢が見られ、責任感の強さが感じられた。	
	主任担当技術者	主任担当技術者としての資質	3	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」				<input type="checkbox"/> ・分担業務間の調整を行った。 <input type="checkbox"/> ・技術者、業務の管理・調整を十分にを行い、図面・資料等に間違い、くいちがい等がなかった。 <input type="checkbox"/> ・適切な工程管理を行っていた。 <input type="checkbox"/> ・積極的な取り組み姿勢が見られ、責任感の強さが感じられた。	
	小計		10						
業務の実施状況	工程及び品質管理能力	工程に対する管理	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」				<input type="checkbox"/> ・立案された実施手順と工程計画は、整合が図られ、かつ業務内容に適合したものであった。 <input type="checkbox"/> ・実施手順の設定、工程計画の立案にあたり、業務を効率的あるいは円滑に遂行するための工夫がなされていた。 <input type="checkbox"/> ・契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 <input type="checkbox"/> ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握出来る状態にあった。	
	調整能力、対応の迅速性、説明能力、倫理観	設計と条件の理解、打合せ時の対応、説明能力	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」				<input type="checkbox"/> ・設計と条件を的確に理解しており、円滑な業務遂行がなされた。 <input type="checkbox"/> ・打合せごとに、打合せ記録簿が作成、提出された。 <input type="checkbox"/> ・打合せ後の対応（追加資料送付、進行状況連絡等）が、打合せ結果の内容に沿ったものであった。 <input type="checkbox"/> ・理解しやすい資料となっており、説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。	
	提案力、業務執行技術力	提案力、技術力	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」				<input type="checkbox"/> ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務の内容・精度、作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 <input type="checkbox"/> ・従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。 <input type="checkbox"/> ・関係法規等を十分に理解していた。	
	小計		10						
設計図書の出来栄	図面表記	目的の達成度	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」				<input type="checkbox"/> ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。	
	図面の不足・単純ミス	十分な書き込み、ミスの有無	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」				<input type="checkbox"/> ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 <input type="checkbox"/> ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 <input type="checkbox"/> ・業務成果は、図面等の不整合がなく、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。	
	資料等の整理	的確なとりまとめ	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」				<input type="checkbox"/> ・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 <input type="checkbox"/> ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫が見られる。 <input type="checkbox"/> ・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
	小計		5						

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1		
設計の達成度	設計と条件の理解	設計と条件の理解・整理	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・設計と条件を十分に理解していた。 <input type="checkbox"/> ・当該業務と他の業務、事業の関連が理解されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務実施の各段階で、必要な情報がリストアップされていた。 <input type="checkbox"/> ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。	
	提案内容、検討状況、コスト把握能力	創意工夫、積極的な提案、分担業務間の調整、コスト管理	7	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・プロポーザルで提案した内容が十分設計時に検討され、成果品に反映できた。(プロポーザルの場合) <input type="checkbox"/> ・創意工夫をこらすなどにより、積極的な提案を行っていた。(プロポーザル以外の場合) <input type="checkbox"/> ・十分な技術的検討がなされた。 <input type="checkbox"/> ・分担業務間の調整を行った。 <input type="checkbox"/> ・適切なコスト管理を行った。	
	施工面の知識 <small>(イ、ロのいずれかを選択する。また、配点は、いずれの場合も「1」とする。)</small>	イ 基本設計のみ	施工に関する一般的な知識		評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・施工に関する一般的な知識を有していた。 <input type="checkbox"/> ・新技術等に関する知識を持ち、高度な設計を行った。 <input type="checkbox"/> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 <input type="checkbox"/> ・当該地域の環境特性を把握していた。
		ロ その他	施工に関する一般的な知識	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 <input type="checkbox"/> ・当該地域の環境特性を把握していた。 <input type="checkbox"/> ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 <input type="checkbox"/> ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。
小計			10							
合計			35							
評定点			合計+65							

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	第一次評定者 評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
業務の実施能力	業務実施体制	6	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・契約図書に基づき、管理技術者届けが提出された。 <input type="checkbox"/> ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務を効率的あるいは円滑に遂行できるよう、適切な構成となっていた。 <input type="checkbox"/> ・業務を効率的あるいは円滑に遂行できるよう、必要な人員数が確保されていた。	
	業務の全体把握	5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・内部関係者への情報伝達が確認された。 <input type="checkbox"/> ・内部関係者への情報伝達にミスがなかった。 <input type="checkbox"/> ・内部関係者への情報伝達は迅速であった。 <input type="checkbox"/> ・管理技術者は、業務遂行に係わるあらゆる状況を理解していた。	
	技術者・業務の管理調整及びコスト管理	6	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・技術者・業務の管理調整を十分に行い、設計と条件等と整合が取れていた。 <input type="checkbox"/> ・技術者・業務の管理調整を十分に行い、図面、資料等に間違い、くいちがい等がなかった。 <input type="checkbox"/> ・コスト管理が十分に行われ、工事費予算額内に納まった。 <input type="checkbox"/> ・コスト管理が十分に行われ、コスト配分がバランスよくなされていた。	
	適切な工程管理	5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・契約締結後14日以内に業務工程表が提出されるなど、速やかに業務着手がなされた。 <input type="checkbox"/> ・業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた。 <input type="checkbox"/> ・打合せ頻度は、十分なものであった。 <input type="checkbox"/> ・打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。	
	設計と条件の的確な理解、円滑な業務遂行	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・当該業務の一般的な特性が考慮されていた。 <input type="checkbox"/> ・当該業務固有の特性が考慮されていた。 <input type="checkbox"/> ・環境、文化、経済等の地域特性まで、当該業務の特性が多面的に考慮されていた。 <input type="checkbox"/> ・当該業務の目的、内容が理解されていた。	
	指示、協議事項に対する対応	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・発注者からの指示に対して、迅速な対応がなされた。 <input type="checkbox"/> ・質問に対する的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 <input type="checkbox"/> ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 <input type="checkbox"/> ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。	
	創意工夫、積極的な提案	5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・業務遂行の各段階で提案がなされた。 <input type="checkbox"/> ・業務内容に合致した提案がなされた。 <input type="checkbox"/> ・関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。 <input type="checkbox"/> ・今後の検討課題が提案された。	
	事前準備、技術的検討	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・業務着手時点において、資料等の提供依頼があった。 <input type="checkbox"/> ・業務実施の各段階で、必要な情報がリストアップされていた。 <input type="checkbox"/> ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。	
	積極的な取り組み姿勢、責任感の強さ	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・管理技術者として、業務の取組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 <input type="checkbox"/> ・打合せにおいて不明な事項については、その場で説明を求めた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。	
合計	35								
評定点		合計+65							

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	第一次評定者 評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
業務の実施能力	主任担当技術者	分担業務間の調整	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整を行った。 <input type="checkbox"/> ・調整の結果、期待される効果が得られた。 <input type="checkbox"/> ・分野間（意匠、構造、設備）の整合が取られており、くいちがいほとんど無かった。 <input type="checkbox"/> ・ミスは無く、照査記録等も完備されていた。
		技術者・業務の管理調整、図面・資料のくい違い	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・技術者・業務の管理調整を十分に行い、設計と条件と整合が取れていた。 <input type="checkbox"/> ・技術者・業務の管理調整を十分に行い、契約図書と整合が取れていた。 <input type="checkbox"/> ・技術者・業務の管理調整を行った。 <input type="checkbox"/> ・図面・資料等に間違い、くいちがい等が無かった。
		適切な工程管理	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・打合せ頻度は、十分なものであった。 <input type="checkbox"/> ・契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 <input type="checkbox"/> ・打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。 <input type="checkbox"/> ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握出来る状態にあった。
		積極的な取り組み姿勢、責任感の強さ	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・主任担当技術者として、業務の取組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 <input type="checkbox"/> ・打合せにおいて不明な事項については、その場で説明を求めた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
	小計	5							

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	第一次評定者 評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
工程及び品質管理能力	ミスの有無	1.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 <input type="checkbox"/> ・修補が必要なミスは、ほとんど無かった。 <input type="checkbox"/> ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 <input type="checkbox"/> ・ミスは無く、照査記録等も完備されていた。
	工程に対する管理	1.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・立案された実施手順と工程計画は、整合が図られ、かつ業務内容に適合したものであった。 <input type="checkbox"/> ・実施手順の設定、工程計画の立案にあたり、業務を効率的あるいは円滑に遂行するための工夫がなされていた。 <input type="checkbox"/> ・契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 <input type="checkbox"/> ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況をほぼ把握出来る状態にあった。
業務の実施状況	設計と条件的確な理解、円滑な業務遂行	1.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・環境、文化、経済等の地域特性まで、当該業務の特性が多面的に考慮されていた。 <input type="checkbox"/> ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 <input type="checkbox"/> ・適正な維持管理に関する十分な知識を有していた。 <input type="checkbox"/> ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。
	打合せ内容の理解、記録	1.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・打合せごとに、打合せ記録簿が作成された。 <input type="checkbox"/> ・打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。 <input type="checkbox"/> ・打合せ記録簿は、打合せ結果を的確に反映していた。 <input type="checkbox"/> ・打合せ後の対応（追加資料送付、進行状況連絡等）は、打合せ結果の内容に沿ったものであった。
	指示、協議事項に対する対応	1.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・発注者からの指示に対して、迅速な対応がなされた。 <input type="checkbox"/> ・質問に対する的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 <input type="checkbox"/> ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 <input type="checkbox"/> ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
	内容の説明力、プレゼンテーション能力	1.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・文章表現が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 <input type="checkbox"/> ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
	創意工夫、積極的な提案	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・当該業務で不足する課題が抽出されていた。 <input type="checkbox"/> ・事業の早期実施に向けた一連の検討課題が提案された。 <input type="checkbox"/> ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 <input type="checkbox"/> ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
提案力、業務執行技術力	事前準備、技術的検討	1.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 <input type="checkbox"/> ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の項目を満足していた。 <input type="checkbox"/> ・採用された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
	関係法規の理解、特定行政庁等との調整	1.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・関係法規等を十分に理解していた。 <input type="checkbox"/> ・発注者からの指示により、関係法規の検討を行った。 <input type="checkbox"/> ・特定行政庁との調整を積極的かつ円滑に行った。 <input type="checkbox"/> ・特定行政庁との調整を十分に行った。
小計		14							

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	第一次評定者 評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
設計図書 の出来栄	図面表記	目的の達成度	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」				<input type="checkbox"/> ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・業務成果は、図面等の不整合がなく、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。	
	図面の不足・単純ミス	ミスの有無	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」			<input type="checkbox"/> ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 <input type="checkbox"/> ・修補が必要なミスは、ほとんどなかった。 <input type="checkbox"/> ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 <input type="checkbox"/> ・ミスは無く、照査記録等も完備されていた。		
		十分な書き込み	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」			<input type="checkbox"/> ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。		
	資料等の整理	的確なとりまとめ	0.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」			<input type="checkbox"/> ・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 <input type="checkbox"/> ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫が見られる。 <input type="checkbox"/> ・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。		
小計			3.5						

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	第一次評定者 評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
設計と条件の理解	設計と条件の理解	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・関連業務も含めた事業全体の特性が考慮されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 <input type="checkbox"/> ・当該業務と他の業務、事業の関連が理解されていた。
	困難な場合の設計と条件の整理	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・業務着手時点において、資料等の提供依頼があった。 <input type="checkbox"/> ・業務実施の各段階で、必要な情報がリストアップされていた。 <input type="checkbox"/> ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。
設計の達成度 提案内容、検討状況、コスト把握能力	創意工夫、積極的な提案	3	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・当該業務で不足する課題が抽出されていた。 <input type="checkbox"/> ・事業の早期実施に向けた一連の検討課題が提案された。 <input type="checkbox"/> ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 <input type="checkbox"/> ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
	十分な技術的検討	1.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の内容を満足していた。 <input type="checkbox"/> ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 <input type="checkbox"/> ・従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
	分担業務間の調整	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整を行った。 <input type="checkbox"/> ・調整の結果、期待される効果が得られた。 <input type="checkbox"/> ・分野間（意匠、構造、設備）の整合が取られており、くいちがいがほとんど無かった。 <input type="checkbox"/> ・ミスは無く、照査記録等も完備されていた。
	コスト管理及びコスト縮減	3	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・工事費に関するコスト把握能力を有していた。 <input type="checkbox"/> ・ライフサイクルコスト（建設費、運用管理費及び解体再利用費）も含めたコスト把握力を有していた。 <input type="checkbox"/> ・コスト縮減に係わる提案があった。 <input type="checkbox"/> ・ライフサイクルコスト等の総合的なコストを念頭においたコスト縮減に係わる提案があった。
	環境	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・グリーン庁舎に対する積極的な提案があった。 <input type="checkbox"/> ・グリーン庁舎設計計画針等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> ・建設リサイクルに対する積極的な提案があった。 <input type="checkbox"/> ・建設リサイクルに対して理解を示していた。
	施工面 の知識 (イ、ロのいずれかを選択する。また、配点は、いずれの場合も「1」とする。)	施工に関する一般的な知識		評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					
	施工に関する一般的な知識	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 <input type="checkbox"/> ・当該地域の環境特性を把握していた。 <input type="checkbox"/> ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 <input type="checkbox"/> ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。
小計		12.5							
合計		35							
評定点		合計+65							

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	第一次評定者 評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
業務の実施能力	業務実施体制	実施体制	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・当該業務を実施する上で、効率的あるいは円滑に遂行できるよう、必要な人員数が確保されていた。 <input type="checkbox"/> ・当該業務を実施する上で十分な能力を有する担当者であった。(資格者が適切に配置されていた) <input type="checkbox"/> ・責任者が明確であり指示、伝達が円滑に遂行できるようになっていた。 <input type="checkbox"/> ・積算システムを熟知していた。
	主任担当技術者	業務の取り組み姿勢	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・設計図記載事項に関する確認・調整が確実に行われた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 <input type="checkbox"/> ・設計図書に対する質疑も適切であり、記録も正確に整備されている。 <input type="checkbox"/> ・図面の修正を必要とする間違い、食い違い等が確実に修正されたか確認を迅速に行った。
		分担業務間の管理・調整	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・全体業務を把握し、分担業務の調整が確実に行われた。 <input type="checkbox"/> ・質疑、協議事項に対して、打合せ内容の関係者への連絡が徹底されていた。 <input type="checkbox"/> ・指示・指摘に対して確実に調整が行われた。 <input type="checkbox"/> ・業務の進捗状況が常に把握されていた。
		適切な工程管理	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・打合せ頻度は、十分なものであった。 <input type="checkbox"/> ・契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 <input type="checkbox"/> ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握出来る状態にあった。 <input type="checkbox"/> ・図面修正等に対し、適切な工程見直しが行われた。
		積極的な取り組み姿勢、責任感の強さ	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・主任担当技術者として、業務の取り組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 <input type="checkbox"/> ・質疑、協議事項が発生した場合の打合せが速やかに行われていた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務の進捗状況の連絡が必要の都度なされていた。
小計		10							

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	第一次評定者 評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
工程	困難な工程に対する管理	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況をほぼ把握できる状態にあった。 <input type="checkbox"/> ・工程計画は、業務内容に適合したものだっただ。 <input type="checkbox"/> ・業務を効率的に遂行するための工夫がなされていた。 <input type="checkbox"/> ・履行期間内に、発注者・受注者相互で内容が確認された成果品が提出された。
	事前準備、技術的検討	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・業務実施に必要な情報が適切に収集・整理されていた。 <input type="checkbox"/> ・見積り処理において、仕様も熟知しており、対応も適切であった。 <input type="checkbox"/> ・発注者の積算基準等を熟知し、業務に対して十分な技術力を有していた。 <input type="checkbox"/> ・設計図を十分に理解し、疑問、不整合に対しての質疑が的確であり、設計にも十分反映された。
	設計図書理解力	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・設計図を正確に読み取る能力が十分であった。 <input type="checkbox"/> ・仕様書、標準図等の関連図書の内容も十分把握している。 <input type="checkbox"/> ・設計図書内の不整合点を把握し的確に報告している。 <input type="checkbox"/> ・不整合点等に対し、適切な修正案を提案している。
	積算基準類習熟度	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・数量積算基準を十分理解している。 <input type="checkbox"/> ・歩掛り、単価等の適用を十分理解している。 <input type="checkbox"/> ・内訳書標準書式に対応した数量調書となっている。 <input type="checkbox"/> ・各種計算書が、基準に準拠している。
	営繕積算システム	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・基本操作を習熟している。 <input type="checkbox"/> ・RIBC単価を適正に入力している。 <input type="checkbox"/> ・備考に根拠等の情報が十分に盛り込まれている。 <input type="checkbox"/> ・代価表等が緻密に作成されている。
小計		5							
設計図書の出来栄	数量計算書、数量調書等	15	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・適用基準類では対処できない項目についてなど、検討事項の整理が適切になされていた。 <input type="checkbox"/> ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 <input type="checkbox"/> ・集計表等がわかりやすく編集されており、チェックが容易である。 <input type="checkbox"/> ・資料に記載されている文章表現等が、簡潔で理解しやすいものとなっていた。
	資料の整理	5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・成果品との関連が理解できるような適切な整理がなされていた。 <input type="checkbox"/> ・資料の取りまとめに、受注者固有の創意工夫が見られ、発注者が理解しやすかった。 <input type="checkbox"/> ・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。
	小計		20						
合計		35							
評定点		合計+65							

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	総合評定者	
			優	やや	普通	やや	劣		評価細目	
			1.0	0.5	0	-0.5	-1			
設計図書の出来栄	図面表記	目的の達成度	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・業務成果は、図面等の不整合がなく、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
	図面の不足・単純ミス	ミスの有無		3	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					
		十分な書き込み	3		評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					
	資料等の整理	的確なとりまとめ		2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					
小計			10.5							

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	総合評定者	
			優	やや	普通	やや	劣		評価細目	
			1.0	0.5	0	-0.5	-1			
設計と条件の理解	設計と条件の理解	3	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・関連業務も含めた事業全体の特性が考慮されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 <input type="checkbox"/> ・当該業務と他の業務、事業の関連が理解されていた。	
	困難な場合の設計と条件の整理	1.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・業務着手時点において、資料等の提供依頼があった。 <input type="checkbox"/> ・業務実施の各段階で、必要な情報がリストアップされていた。 <input type="checkbox"/> ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。	
設計の達成度	提案内容、検討状況、コスト把握能力	創意工夫、積極的な提案	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・当該業務で不足する課題が抽出されていた。 <input type="checkbox"/> ・事業の早期実施に向けた一連の検討課題が提案された。 <input type="checkbox"/> ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 <input type="checkbox"/> ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
		十分な技術的検討	3	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の内容を満足していた。 <input type="checkbox"/> ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 <input type="checkbox"/> ・採用された検討手法は、従来技術に応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
		分担業務間の調整	3	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整を行った。 <input type="checkbox"/> ・調整の結果、期待される効果が得られた。 <input type="checkbox"/> ・分野間（意匠、構造、設備）の整合が取られており、くいちがいがほとんど無かった。 <input type="checkbox"/> ・ミスは無く、照査記録等も完備されていた。
		コスト管理及びコスト削減	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・工事費に関するコスト把握能力を有していた。 <input type="checkbox"/> ・ライフサイクルコスト（建設費、運用管理費及び解体再利用費）も含めたコスト把握力を有していた。 <input type="checkbox"/> ・コスト削減に係わる提案があった。 <input type="checkbox"/> ・ライフサイクルコスト等の総合的なコストを念頭においたコスト削減に係わる提案があった。
		環境	3	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・グリーン庁舎に対する積極的な提案があった。 <input type="checkbox"/> ・グリーン庁舎計画指針等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> ・建設リサイクルに対する積極的な提案があった。 <input type="checkbox"/> ・建設リサイクルに対して理解を示していた。
		施工に関する一般的な知識	3	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・施工に関する一般的な知識を有していた。 <input type="checkbox"/> ・新技術等に関する知識を持ち、高度な設計を行った。 <input type="checkbox"/> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 <input type="checkbox"/> ・当該地域の環境特性を把握していた。
施工面の知識 <small>（イ、ロのいずれかを選択する。また、配点は、いずれの場合も「3」とする。）</small>	イ 基本設計のみ	3	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 <input type="checkbox"/> ・当該地域の環境特性を把握していた。 <input type="checkbox"/> ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 <input type="checkbox"/> ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。	
	ロ その他	3	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 <input type="checkbox"/> ・当該地域の環境特性を把握していた。 <input type="checkbox"/> ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 <input type="checkbox"/> ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。	
小計		24.5								
合計		35								
評定点		合計+65								

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	総合評定者
				優	やや	普通	やや	劣		評価細目
				1.0	0.5	0	-0.5	-1		
設計図書 の出来栄	数量計算書、数量調書等	成果品のレベル	20	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					<input type="checkbox"/> ・適用基準類では対処できない項目についてなど、検討事項の整理が適切になされていた。 <input type="checkbox"/> ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった <input type="checkbox"/> ・集計表等がわかりやすく編集されており、チェックが容易である。 <input type="checkbox"/> ・資料に記載されている文章表現等が、簡潔で理解しやすいものとなっていた。	
	資料の整理	的確なとりまとめ	15	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」						<input type="checkbox"/> ・成果品との関連が理解できるような適切な整理がなされていた。 <input type="checkbox"/> ・資料の取りまとめに、受注者固有の創意工夫が見られ、発注者が理解しやすかった。 <input type="checkbox"/> ・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。
合計			35							
評定点				合計+65						